

2022年度

FD報告書



京都ノートルダム女子大学



はじめに

2022 度は FD 委員会の組織改編がおこなわれ、教員委員について各学科から 1 名ずつ選出されていた従来の制度から、各学部から 1 名ずつ選出する制度へと変更された。これにより職員委員を含めて 6 名体制であった本委員会が 3 名体制へと大幅にスリム化された。委員会組織のスリム化は業務の効率化や教職員の負担軽減に有効な手段である一方、教員委員 5 名で担っていた委員会業務を 2 名で担っていけるよう業務の精選ならびに各学科との連絡・連携方法を模索することが新委員会の喫緊の課題となった。そのために、これまで前期と後期に 1 回ずつ実施していたオープンクラスを前期 1 回のみの実施としたり、各学科との連絡・連携に関しこれまで以上に学部長・学科主任のご協力を要請する等の工夫をおこなった。昨年度の FD 委員会においてすでに、他の委員会やセンターがおこなう活動との住み分けや委員会・部局間連携体制の構築が推進されていたことが幸いし、当初想定していたよりも業務の精選ならびに各学科との連絡・連携はスムーズにいったように思われる。

この冊子には、本年度の委員会の活動を振り返り評価・検討をおこなった内容を記載した。この 1 年間の成果とともに、反省点や引き続き取り組んでいくべき課題も記されている。今後の教育改善や FD 活動の推進に役立てていただければ幸いである。なお本年度は、構成メンバーの大幅減という逆風の中にありながら専任教員の FD 活動への参加率 100% という成果を収めることができた。その要因としては、第一に本学教職員の教育改善に対する意識の高さを挙げることができるが、それに加えて本委員会の各委員の奮闘、そして歴代の FD 委員会の努力の積み重ねが結実したものであるということができよう。

最後に、本学教職員のみなさまの本委員会の活動へのご理解ご協力に厚く感謝を申し上げます。また、委員会に係る事務作業全般はもちろん、オープンクラスの動画撮影・配信や研修会の準備・運営等の実作業を献身的に担ってくださった研究・情報推進課のみなさまの貢献なくしては 1 年間の活動を無事終えることはできなかったと思う。この場を借りてお礼を申し上げます。

2022（令和 4 年）年度に本委員会が主となって実施した活動は以下のとおりである。

1. オープンクラスを 2022 年 8 月 1 日(月)～9 月 20 日(火)に実施した。授業実践において ICT を有効に活用している事例を各学科で選定してもらい、録画した授業動画をオンデマンド形式で配信することで優れた実践事例を共有した。
2. 教員対象 FD 研修会を 2023 年 2 月 15 日（水）10：30～12：00 に対面で実施した。神戸大学大学教育推進機構大学教育研究センターの葛城浩一先生をお迎えし、「教育の質保証の実現を目指して－『ボーダーフリー大学』研究の知見から－」と題してご講演いた

だった。講演ののち、講演者と参加者の間で質疑応答、意見交換をおこなった。

3. 大学院生教育評価アンケートを 2022 年 12 月 9 日（金）～2023 年 2 月 20 日（月）に実施した。アンケートの結果を取りまとめたのち、FD 委員が研究科会議で報告した。
4. 前期および後期の授業評価アンケート結果について各学科および ND 教育センターでリフレクションをおこなってもらい、組織内で教育の成果や課題等を共有していただいた。リフレクションの結果については、リフレクションシートとして取りまとめたのち FD 委員会に提出していただいた。
5. 大学コンソーシアム京都主催「FD フォーラム」の委員として FD 委員が参加、2023 年 2 月 24（金）の第 8 分科会「その能力、どうしたら社会で活かせる？ー発達障害のある理工系学生の能力を専門職就労につなげるために必要な支援と課題ー」（オンライン）を企画・実施した。

2023 年（令和 5 年）3 月

京都ノートルダム女子大学

FD 委員会委員長 石川 裕之

2022年度 FD 報告書 目次

はじめに	1
目次	3
I 2022年度「学生による授業評価アンケート」にもとづく教育改善活動報告	4
1. 授業評価アンケート実施の目的と方法	4
2. 授業評価アンケート結果にもとづく教育改善活動	4
3. 2022年度 学生による授業評価アンケート調査項目・回答形式	6
4. 「学生による授業評価アンケート」集計結果表	8
(1) 2021年度後期【全学部】	8
(2) 2021年度後期【開講所属別】	9
共通教育科目 / 英語英文学科専門教育科目 / 国際日本文化科専門教育科目 / 現代人間学部共通科目 / 福祉生活デザイン学科専門教育科目 / 心理学科専門教育科目 / こども教育学科専門教育科目 / 生活福祉文化学部専門教育科目 / 心理学部専門教育科目 / 資格科目等	
(3) 2022年度前期【全学部】	25
(4) 2022年度前期【開講所属別】	27
共通教育科目 / 英語英文学科専門教育科目 / 国際日本文化科専門教育科目 / 現代人間学部共通科目 / 福祉生活デザイン学科専門教育科目 / 心理学科専門教育科目 / こども教育学科専門教育科目 / 生活福祉文化学部専門教育科目 / 心理学部専門教育科目 / 資格科目等	
II 2022年度「大学院生による教育評価アンケート」実施報告	41
1. 実施目的	41
2. 実施方法	41
3. 「大学院生による教育評価アンケート」全学的観点から見た現状と今後の課題	43
4. 集計結果表	44
(1) 【全研究科】	44
(2) 【研究科別】	45
1) 人間文化研究科	45
2) 心理学研究科	46
III 2022年度「オープンクラス」実施報告	47
1. 実施概要	47
2. 現状と今後の課題	48
IV 2022年度「FD研修会」実施報告	49
1. 実施概要	49
2. 現状と今後の課題	49
V 大学コンソーシアム京都 第28回FDフォーラム	51
第8分科会「その能力、どうしたら社会で活かせる？—発達障害のある理工系学生の能力を専門職就労につなげるために必要な支援と課題—」報告	
コーディネーター：三好 智子 委員（「第28回FDフォーラム報告書」より）	
2022年度FD委員会構成員・奥付	52

I 2022年度「学生による授業評価アンケート」にもとづく教育改善活動報告

1. 授業評価アンケート実施の目的と方法

「学生による授業評価アンケート」は、授業に対する学生の意見を参考にすることで、本学の教育の内容や方法等に関する課題を明確にし、さらなる教育の質的向上を図ることを目的として2008年度（平成20年度）から継続的に実施されてきた。本年度については、前期は2022年7月8日（金）から7月29日（金）まで、後期は2023年1月13日（金）から1月30日（月）までの期間にUNIPANDAを用いて実施された。対象は本年度に学部にて開講されている全授業科目の履修生であった。授業評価アンケートの設問や学部・学科ごとの回答率等のデータについては、章末の「2022年度 学生による授業評価アンケート調査項目・回答形式」および「2022年度 学生による授業評価アンケート集計結果」を参照されたい。

2. 授業評価アンケートの結果にもとづく教育改善活動

教育改善の取り組みは全学、学部・学科、個別教職員など多様な主体によって日常的・継続的・多層的におこなわれている。授業評価アンケートの結果にもとづく教育改善活動についても同様である。そこで本報告書では、本年度にFD委員会が中心となり各学部・学科および関連部署との連携を通じて実施した、2021年度後期および2022年度前期実施の授業評価アンケートの結果にもとづく教育改善活動について報告する。

1) 授業や学習の状況、学修成果について

授業評価アンケート結果を組織的な教育改善につなげるべく、2022年度から各学科およびND教育センターにおいてリフレクションが実施され、その結果がリフレクションシートにまとめられた上でFD委員会に提出された。リフレクションシートの具体的な内容については非公開であるが、その内容を参考に2021年度後期および2022年度後期授業評価アンケート結果にみられた特徴について以下に記す。

(1) 成果とその要因

両学期に開講されたいずれの所属科目においても、「授業の状況」および「学習の状況」（2022年度前期は「学習の状況・成果」）に関する設問についておおむね8割以上の学生が肯定的に評価（「そう思う」および「どちらかと言えばそう思う」）していた。ここから、本学の授業の質は全般的に高く、また、学生の学修状況も良好であると考えられる。さらに、ND6で設定された各力が身についたかに関する設問についても、7割以上の学生が肯定的に評価（「そう思う」および「どちらかと言えばそう思う」）している設問が多く、着実な学修成果を上げていることがうかがえる。その要因としては、以下のようなことが考えられる。

- ・学年間の学びの系統性を意識したカリキュラム編成が有効に機能した。

- ・コロナ禍対応のためのオンライン授業の経験が、効果的な視聴覚教材作成や双方向的な授業実践に活かされ、学生の授業内容の理解度向上や学修意欲の向上につながった。
- ・実践的・体験的な活動を授業に組み込んだことで、学生の授業内容に対する理解度が高まった。
- ・教員が学生のモデルとなるよう意識しつつ授業をおこなっていることで、学生の学びへの取り組みにプラスの影響を与えた。

(2) 課題と改善案

授業評価アンケート結果からみえてくる全学的な課題は、学生の授業外学修時間の少なさである。改善案としては、各教員が学生に課している課題の内容や提出された課題へのフィードバックの方法について検討するなどが考えられる。一方で、CAPを設定しているとはいえ特に低学年時には履修科目数が多くなりがちであり、予習・復習に相当な時間がかかることから、授業外学修の量だけでなく質についてどのように評価するか議論が必要である。また、授業外学修時間のばらつきからは、各科目の授業外学修課題に要する時間が担当教員によって二極化している可能性も見受けられる。各教員が自分の担当科目のアンケート結果をもとに課題の内容を検討する必要があるだろう。

さらに、資格を取得する学生の中には「何のためにその資格を取得するのか」という目的意識が低いケースも見受けられるため、ガイダンス等を通して意識改善を図っていく必要がある。

授業評価アンケートへの回答率の低さについても以前から続く全学的な課題である。学生の回答率を上げる方策について検討が求められる一方で、本学ではIR調査やリフレクションシートなども実施しているため、学生の立場に立てば「アンケートにばかり回答させられている」といった印象もあるだろう。学生の声をどのように回収するかについて全学的に議論することが重要と考えられる。

2) 施設・設備についての指摘・要望と対応

授業評価アンケートの自由記述欄に記された内容のうち、施設・設備についての指摘・要望についてはFD委員会から関係部署（システム管理課、施設課）に伝達し、対応の状況や結果を報告してもらうことで教育・学習環境の改善につなげている。2021年度後期および2022年度後期授業評価アンケート結果においてはPC関連機器の故障や作動不良に関する指摘・要望や、マイクやスピーカー等音響機器に関する指摘・要望、プロジェクターやスクリーン等映像機器に関する指摘・要望、学内ネットワークの通信状態に関する指摘・要望、空調施設に関する指摘・要望などがあった。これらの指摘・要望について、関係部署がメンテナンスをおこなったり対策を講じたりするなど改善に務めた。

文責：石川裕之（FD委員長、国際言語文化学部 FD委員）

3. 授業評価アンケート調査項目・回答形式（2022年度）

回答にかかる学生の負担軽減とアンケート内容のさらなる改善を目的として 2022 年度から調査項目・回答形式を一部変更した。以下に 2022 年度前期授業評価アンケートの調査項目・回答形式を示す。2021 年度の調査項目・回答形式については『2021 年度 FD 報告書』の pp.10-11 を参照されたい。

（1）調査項目

【授業の状況】

- (1) 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であり、変更が生じた場合も適切に示されていましたか。
- (2) 成績評価の仕方が明確に示されていましたか。
- (3) 授業中に使う教材（テキスト・配付資料など）、教員の説明・話し方はわかりやすかったですか。
- (4) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答がありましたか。

【学習の状況・成果】

- (5) この授業について主体的な態度で参加しましたか。
- (6) この授業について授業以外 1 週間あたり、どのくらい学修しましたか。
- (7) この授業に満足していますか。

【ND6 関連項目】（4 年間で育てたい力 ND6）本学では卒業時に身につけておくべき 6 つの力「ND6」を定めています。

- (8) この授業で「自分を育てる力」が身についた。
- (9) この授業で「知識・理解力」が身についた。
- (10) この授業で「言語力」が身についた。
- (11) この授業で「思考・解決力」が身についた。
- (12) この授業で「共生・協働する力」が身についた。
- (13) この授業で「創造・発信力」が身についた。

【自由記述】

- (14) この授業について、面白いと感じた点や学びが促進された点、授業を進める中でよかったと感じた点があれば記入してください。
- (15) この授業について、工夫すべき点、改善してほしい点があれば記入してください。
- (16) この授業の教室や設備について、よかったと感じた点、または改善してほしい点があれば記入してください。

(2) 回答形式

評価項目(1)～(5)と(7)～(13)については、以下の6件法で回答させた。

- 1: そう思う
- 2: どちらかと言えばそう思う
- 3: どちらとも言えない
- 4: どちらかと言えばそう思わない
- 5: そう思わない
- 6: 該当しない

また、(6)の1週間あたりの学修時間については、以下の6件法で回答させた。

- 1: 4時間以上
- 2: 2～4時間未満
- 3: 1～2時間未満
- 4: 30分～1時間未満
- 5: 30分未満
- 6: 0分

2021年度 学生による授業評価アンケート集計結果表

全学部

京都ノートルダム女子大学

集計単位	全学部	
履修者数		全科目数
回答者数	3802	実施科目数
対象者数	12726	

学部学科	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)				科目等履修生	合計	所属学科別回答率
	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生			
国際言語文化学部	英語英文学科	214 36.3%	264 22.4%	158 20.6%	61 18.3%	697	23.8%
	国際日本文化学科	189 40.3%	335 36.7%	129 26.2%	56 24.5%	709	33.4%
生活福祉文化学部						0	0
心理学部						1	14.3%
現代人間学部	生活環境学科	271 50.1%	329 40.3%	132 29.1%	17 13.2%	749	38.4%
	福祉生活デザイン学科	333 37.4%	279 22.6%	181 22.4%	11 4.7%	804	25.4%
	心理学科	346 50.8%	265 24.0%	163 32.2%	63 28.1%	837	33.0%
	子ども教育学科					5	21.7%
科目等履修生, その他						5	21.7%
合計		1353	1472	763	209	5	3802
学年別回答率		42.7%	28.1%	25.2%	16.5%	21.7%	29.9%

※Q10以外 1：そう思う 2：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない 4：どちらかと言えばそう思わない 5：そう思わない 6：該当しない

※Q10 1：4時間以上 2：2~4時間未満 3：1~2時間未満 4：30分~1時間未満 5：30分未満 6：0分

【授業の状況】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q1	(1) 授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であり、変更が生じた場合も適切に示されていた。	1.4	2485	1031	190	27	28	11	3772	30	0.733
			65.4%	27.1%	5.0%	0.7%	0.7%	0.3%	99.2%	0.8%	
Q2	(2) 授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった。	1.7	2158	1091	309	110	58	46	3772	30	0.995
			56.8%	28.7%	8.1%	2.9%	1.5%	1.2%	99.2%	0.8%	
Q3	(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた。	1.6	2145	1105	375	75	51	15	3766	34	0.892
			56.4%	29.1%	9.9%	2.0%	1.3%	0.4%	99.1%	0.9%	
Q4	(4) 教員の説明・話し方は、わかりやすかった。	1.6	2214	1085	281	87	65	36	3768	34	0.960
			58.2%	28.5%	7.4%	2.3%	1.7%	0.9%	99.1%	0.9%	
Q5	(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答があった。	1.6	2180	1062	344	80	58	44	3768	34	0.978
			57.3%	27.9%	9.0%	2.1%	1.5%	1.2%	99.1%	0.9%	
Q6	(6) 授業は興味関心の持てる内容であった。	1.7	2072	1167	336	104	73	12	3764	38	0.929
			54.5%	30.7%	8.8%	2.7%	1.9%	0.3%	99.0%	1.0%	
Q7	(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった。	2.0	2247	772	209	84	49	400	3761	41	1.600
			59.1%	20.3%	5.5%	2.2%	1.3%	10.5%	98.9%	1.1%	

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q8	(8) 授業の内容は理解できた。	1.7	1948	1374	297	80	58	13	3770	32	0.873
			51.2%	36.1%	7.8%	2.1%	1.5%	0.3%	99.2%	0.8%	
Q9	(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった。	1.4	2811	627	178	58	34	53	3761	41	0.906
			73.9%	16.5%	4.7%	1.5%	0.9%	1.4%	98.9%	1.1%	
Q10	(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学働しましたか。	3.8	162	454	995	986	768	396	3761	41	1.309
			4.3%	11.9%	26.2%	25.9%	20.2%	10.4%	98.9%	1.1%	

【学習成果(4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q11	(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した。	1.9	1663	1179	634	91	77	93	3737	65	1.137
			43.7%	31.0%	16.7%	2.4%	2.0%	2.4%	98.3%	1.7%	
Q12	(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した。	1.6	2184	1202	269	33	40	25	3753	49	0.838
			57.4%	31.6%	7.1%	0.9%	1.1%	0.7%	98.7%	1.3%	
Q13	(13) この授業で、「言語力」が向上した。	2.3	1384	1077	695	145	139	306	3746	56	1.497
			36.4%	28.3%	18.3%	3.8%	3.7%	8.0%	98.5%	1.5%	
Q14	(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した。	1.9	1693	1282	526	89	67	80	3737	65	1.085
			44.5%	33.7%	13.8%	2.3%	1.8%	2.1%	98.3%	1.7%	
Q15	(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した。	2.3	1333	1075	795	171	125	246	3745	57	1.416
			35.1%	28.3%	20.9%	4.5%	3.3%	6.5%	98.5%	1.5%	
Q16	(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した。	2.2	1369	1179	741	140	103	216	3748	54	1.354
			36.0%	31.0%	19.5%	3.7%	2.7%	5.7%	98.6%	1.4%	

2021年度 学生による授業評価アンケート集計結果表

開講所属別

京都ノートルダム女子大学

集計単位	共通		
履修者数	2830	全科目数	
回答者数	921	実施科目数	82

学部学科	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)				科目等履修生	合計	所属学科別回答率
	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生			
国際言語文化学部	英語英文学科	41 32.3%	50 24.2%	27 18.6%	13 21.3%	131 23.7%	
	国際日本文化学科	105 38.7%	44 26.0%	7 21.9%	8 26.7%	164 32.3%	
生活福祉文化学部				0	0	0	
心理学部				0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
現代人間学部	福祉生活デザイン学科	151 45.2%	34 31.5%	13 40.6%	1 10.0%	199 40.9%	
	心理学科	169 40.8%	56 25.1%	14 23.3%	2 6.9%	241 33.2%	
	こども教育学科	117 38.6%	38 31.1%	27 27.3%	3 15.0%	185 33.5%	
科目等履修生, その他					1	1	
合計	583	222	88	27	1	921	
学年別回答率	40.2%	26.8%	23.9%	14.8%	33.3%	32.5%	

※Q10以外 1：そう思う 2：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない
4：どちらかと言えばそう思わない 5：そう思わない 6：該当しない

※Q10 1：4時間以上 2：2~4時間未満 3：1~2時間未満 4：30分~1時間未満 5：30分未満 6：0分

【授業の状況】

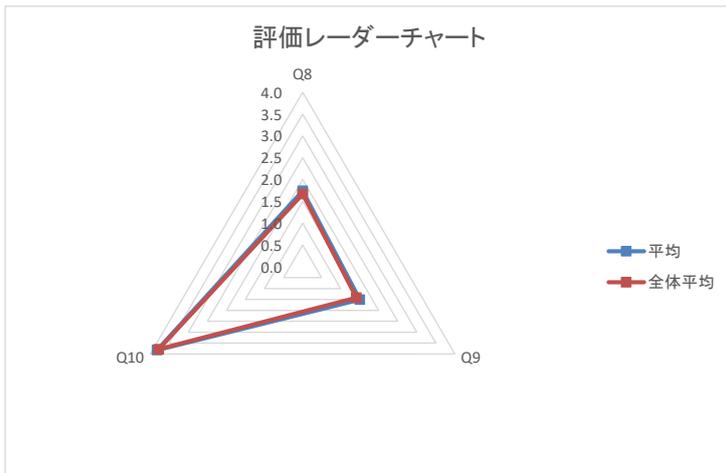
No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q1	(1) 授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であり、適量が採り込まれている。	1.4	613 66.6%	237 25.7%	59 6.4%	2 0.2%	4 0.4%	3 0.3%	918 99.7%	3 0.3%	0.710
Q2	(2) 授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった。	1.7	510 55.4%	258 28.0%	73 7.9%	40 4.3%	13 1.4%	22 2.4%	916 99.5%	5 0.5%	1.123
Q3	(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた。	1.6	528 57.3%	266 28.9%	91 9.9%	15 1.6%	12 1.3%	6 0.7%	918 99.7%	3 0.3%	0.905
Q4	(4) 教員の説明・話し方は、わかりやすかった。	1.8	505 54.8%	253 27.5%	87 9.4%	30 3.3%	19 2.1%	23 2.5%	917 99.6%	4 0.4%	1.146
Q5	(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答があった。	1.8	500 54.3%	255 27.7%	102 11.1%	23 2.5%	15 1.6%	22 2.4%	917 99.6%	4 0.4%	1.110
Q6	(6) 授業は興味関心の持てる内容であった。	1.8	445 48.3%	304 33.0%	94 10.2%	37 4.0%	28 3.0%	7 0.8%	915 99.3%	6 0.7%	1.057
Q7	(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった。	2.3	508 55.2%	160 17.4%	41 4.5%	17 1.8%	10 1.1%	179 19.4%	915 99.3%	6 0.7%	1.947

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q8	(8) 授業の内容は理解できた。	1.7	451 49.0%	332 36.0%	87 9.4%	28 3.0%	16 1.7%	5 0.5%	919 99.8%	2 0.2%	0.940
Q9	(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった。	1.5	670 72.7%	148 16.1%	43 4.7%	20 2.2%	13 1.4%	23 2.5%	917 99.6%	4 0.4%	1.071
Q10	(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学修しましたか。	3.8	36 3.9%	96 10.4%	263 28.6%	228 24.8%	178 19.3%	112 12.2%	913 99.1%	8 0.9%	1.311

【学習成果 (社会人基礎力)】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q11	(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した。	2.4	392 42.6%	283 30.7%	155 16.8%	20 2.2%	29 3.1%	31 3.4%	910 98.8%	11 1.2%	1.234
Q12	(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した。	1.7	503 54.6%	292 31.7%	79 8.6%	11 1.2%	16 1.7%	11 1.2%	912 99.0%	9 1.0%	0.961
Q13	(13) この授業で、「言語力」が向上した。	2.3	359 39.0%	247 26.8%	155 16.8%	29 3.1%	36 3.9%	84 9.1%	910 98.8%	11 1.2%	1.556
Q14	(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した。	2.0	381 41.4%	297 32.2%	151 16.4%	32 3.5%	19 2.1%	29 3.1%	909 98.7%	12 1.3%	1.194
Q15	(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した。	2.5	312 33.9%	219 23.8%	196 21.3%	43 4.7%	42 4.6%	95 10.3%	907 98.5%	14 1.5%	1.603
Q16	(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した。	2.4	308 33.4%	285 30.9%	172 18.7%	39 4.2%	35 3.8%	70 7.6%	909 98.7%	12 1.3%	1.467



2021年度 学生による授業評価アンケート集計結果表

開講所属別

京都ノートルダム女子大学

集計単位	英文		
履修者数	2182	全科目数	
回答者数	501	実施科目数	112

学部学科	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)				科目等履修生	合計	所属学科別回答率
	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生			
国際言語文化学部	英語英文学科	168 37.3%	186 20.6%	105 19.2%	40 17.9%	499	23.0%
	国際日本文化学科	0	0	2 50.0%	0 0.0%	2	25.0%
生活福祉文化学部				0	0		
心理学部				0	0		
現代人間学部	福祉生活デザイン学科	0 0.0%	0 0.0%	0	0	0	0.0%
	心理学科	0	0	0	0	0	
	こども教育学科	0	0	0	0 0.0%	0	0.0%
科目等履修生, その他					0	0	
合計	168	186	107	40	0	501	
学年別回答率	37.2%	20.6%	19.5%	14.7%	0.0%		23.0%

※Q10以外 1：そう思う 2：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない
4：どちらかと言えばそう思わない 5：そう思わない 6：該当しない

※Q10 1：4時間以上 2：2～4時間未満 3：1～2時間未満 4：30分～1時間未満 5：30分未満 6：0分

【授業の状況】

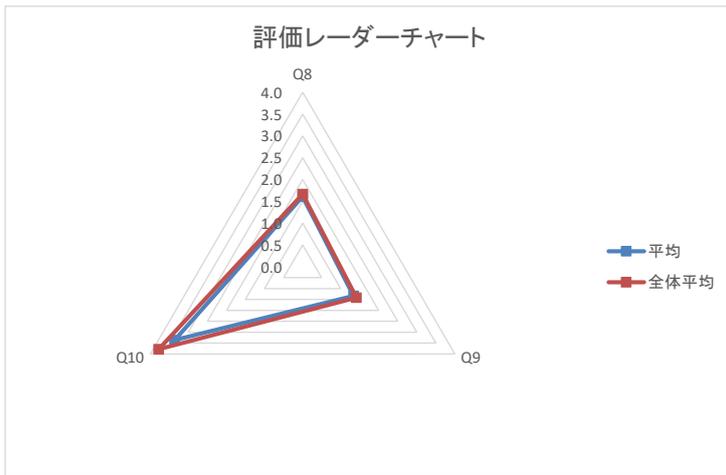
No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q1	(1) 授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であり、適宜がけられた場合に適切に示された。	1.3	364 72.7%	103 20.6%	19 3.8%	5 1.0%	3 0.6%	1 0.2%	495	6	0.692
Q2	(2) 授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった。	1.6	320 63.9%	110 22.0%	32 6.4%	14 2.8%	14 2.8%	4 0.8%	494	7	1.022
Q3	(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた。	1.6	319 63.7%	104 20.8%	42 8.4%	10 2.0%	15 3.0%	2 0.4%	492	9	0.992
Q4	(4) 教員の説明・話し方は、わかりやすかった。	1.6	330 65.9%	101 20.2%	29 5.8%	18 3.6%	12 2.4%	2 0.4%	492	9	0.980
Q5	(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答があった。	1.5	351 70.1%	85 17.0%	35 7.0%	10 2.0%	10 2.0%	2 0.4%	493	8	0.916
Q6	(6) 授業は興味関心の持てる内容であった。	1.6	309 61.7%	103 20.6%	50 10.0%	11 2.2%	18 3.6%	2 0.4%	493	8	1.043
Q7	(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった。	1.5	370 73.9%	63 12.6%	23 4.6%	13 2.6%	4 0.8%	18 3.6%	491	10	1.156

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q8	(8) 授業の内容は理解できた。	1.6	293 58.5%	139 27.7%	36 7.2%	10 2.0%	15 3.0%	0 0.0%	493	8	0.934
Q9	(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった。	1.3	404 80.6%	57 11.4%	9 1.8%	8 1.6%	3 0.6%	11 2.2%	492	9	0.938
Q10	(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか。	3.4	27 5.4%	90 18.0%	161 32.1%	126 25.1%	71 14.2%	18 3.6%	493	8	1.198

【学習成果 (社会人基礎力)】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q11	(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した。	2.0	251 50.1%	128 25.5%	77 15.4%	11 2.2%	14 2.8%	11 2.2%	492	9	1.164
Q12	(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した。	1.6	305 60.9%	137 27.3%	31 6.2%	6 1.2%	10 2.0%	4 0.8%	493	8	0.923
Q13	(13) この授業で、「言語力」が向上した。	1.8	264 52.7%	125 25.0%	59 11.8%	14 2.8%	16 3.2%	13 2.6%	491	10	1.211
Q14	(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した。	1.7	277 55.3%	129 25.7%	58 11.6%	9 1.8%	13 2.6%	5 1.0%	491	10	1.037
Q15	(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した。	2.0	227 45.3%	140 27.9%	70 14.0%	17 3.4%	16 3.2%	22 4.4%	492	9	1.324
Q16	(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した。	2.0	232 46.3%	136 27.1%	78 15.6%	14 2.8%	16 3.2%	16 3.2%	492	9	1.249



2021年度 学生による授業評価アンケート集計結果表

開講所属別

京都ノートルダム女子大学

集計単位	国日
------	----

履修者数	1425	全科目数	
回答者数	460	実施科目数	67

学部学科	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)				科目等履修生	合計
	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生		
国際言語文化学部	英語英文学科	0	9	7	3	19
			64.3%	28.0%	42.9%	38.0%
国際日本文化学科		70	226	89	43	428
		40.2%	38.1%	24.1%	27.0%	32.8%
生活福祉文化学部				0	0	0
心理学部				0	0	0
現代人間学部	福祉生活デザイン学科	0	0	0	1	1
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	7.1%
	心理学科	0	5	4	0	9
	0.0%	18.5%	44.4%	0.0%	23.1%	
こども教育学科	0	1	1	0	2	2
	0.0%	11.1%	100.0%	0.0%	16.7%	
科目等履修生, その他					1	1
合計	70	241	101	47	1	460
学年別回答率	39.3%	37.0%	24.8%	25.5%	20.0%	32.3%

※Q10以外 1：そう思う 2：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない
4：どちらかと言えばそう思わない 5：そう思わない 6：該当しない

※Q10 1：4時間以上 2：2～4時間未満 3：1～2時間未満 4：30分～1時間未満 5：30分未満 6：0分

【授業の状況】

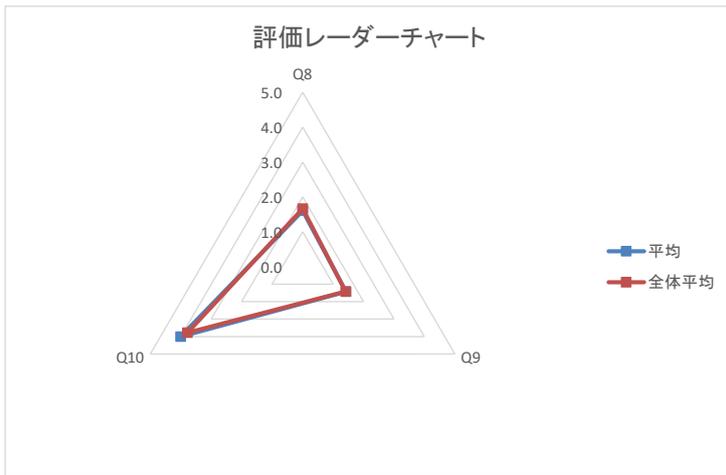
No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q1	(1) 授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であり、適宜がけられた場合に適切に示された。	1.4	296	131	23	4	3	1	458	2	0.724
			64.3%	28.5%	5.0%	0.9%	0.7%	0.2%	99.6%	0.4%	
Q2	(2) 授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった。	1.7	257	136	42	12	5	6	458	2	0.978
			55.9%	29.6%	9.1%	2.6%	1.1%	1.3%	99.6%	0.4%	
Q3	(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた。	1.6	260	131	54	9	1	2	457	3	0.841
			56.5%	28.5%	11.7%	2.0%	0.2%	0.4%	99.3%	0.7%	
Q4	(4) 教員の説明・話し方は、わかりやすかった。	1.5	282	133	30	8	4	1	458	2	0.797
			61.3%	28.9%	6.5%	1.7%	0.9%	0.2%	99.6%	0.4%	
Q5	(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答があった。	1.6	259	139	43	10	4	0	455	5	0.818
			56.3%	30.2%	9.3%	2.2%	0.9%	0.0%	98.9%	1.1%	
Q6	(6) 授業は興味関心の持てる内容であった。	1.6	265	137	41	8	3	1	455	5	0.809
			57.6%	29.8%	8.9%	1.7%	0.7%	0.2%	98.9%	1.1%	
Q7	(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった。	1.8	272	105	34	13	2	33	459	1	1.396
			59.1%	22.8%	7.4%	2.8%	0.4%	7.2%	99.8%	0.2%	

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q8	(8) 授業の内容は理解できた。	1.6	243	170	33	4	6	1	457	3	0.799
			52.8%	37.0%	7.2%	0.9%	1.3%	0.2%	99.3%	0.7%	
Q9	(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった。	1.4	319	99	30	3	0	5	456	4	0.797
			69.3%	21.5%	6.5%	0.7%	0.0%	1.1%	99.1%	0.9%	
Q10	(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか。	4.0	15	44	96	127	117	58	457	3	1.288
			3.3%	9.6%	20.9%	27.6%	25.4%	12.6%	99.3%	0.7%	

【学習成果 (社会人基礎力)】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q11	(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した。	2.5	177	132	113	16	5	11	454	6	1.125
			38.5%	28.7%	24.6%	3.5%	1.1%	2.4%	98.7%	1.3%	
Q12	(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した。	1.6	249	156	48	4	0	0	457	3	0.713
			54.1%	33.9%	10.4%	0.9%	0.0%	0.0%	99.3%	0.7%	
Q13	(13) この授業で、「言語力」が向上した。	2.2	162	151	94	16	6	29	458	2	1.337
			35.2%	32.8%	20.4%	3.5%	1.3%	6.3%	99.6%	0.4%	
Q14	(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した。	1.9	195	161	75	11	3	11	456	4	1.061
			42.4%	35.0%	16.3%	2.4%	0.7%	2.4%	99.1%	0.9%	
Q15	(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した。	2.4	142	119	127	23	16	30	457	3	1.404
			30.9%	25.9%	27.6%	5.0%	3.5%	6.5%	99.3%	0.7%	
Q16	(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した。	2.2	161	143	108	15	6	25	458	2	1.292
			35.0%	31.1%	23.5%	3.3%	1.3%	5.4%	99.6%	0.4%	



2021年度 学生による授業評価アンケート集計結果表

開講所属別

京都ノートルダム女子大学

集計単位	現共
------	----

履修者数	116	全科目数	
回答者数	21	実施科目数	2

学部学科	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)				科目等履修生	所属学科別回答率	合計
	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生			
国際言語文化学部	英語英文学科	0	0	1	0		1 11.1%
	国際日本文化学科	0	0	4	0		4 26.7%
生活福祉文化学部					0		0
心理学部					0		0
現代人間学部	福祉生活デザイン学科	0	0	1	0		1 25.0%
	心理学科	3	0	6	0		9 15.8%
	こども教育学科	0	0	2	4		6 19.4%
科目等履修生, その他					0		0
合計	3	0	14	4	0		21
学年別回答率	10.0%	0.0%	20.0%	30.8%			18.1%

※Q10以外 1：そう思う 2：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない
4：どちらかと言えばそう思わない 5：そう思わない 6：該当しない

※Q10 1：4時間以上 2：2～4時間未満 3：1～2時間未満 4：30分～1時間未満 5：30分未満 6：0分

【授業の状況】

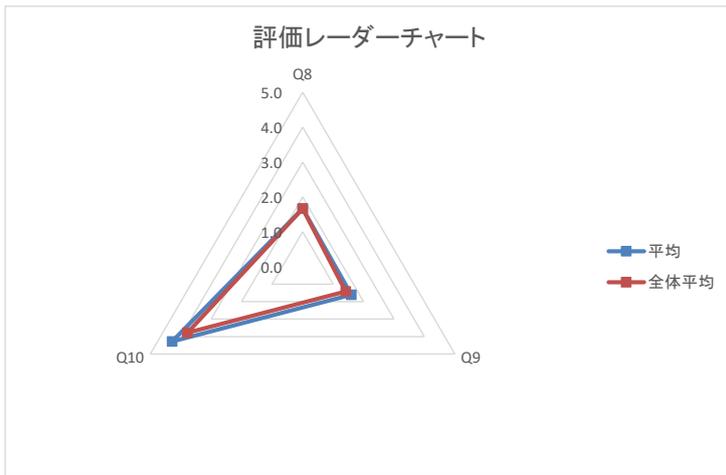
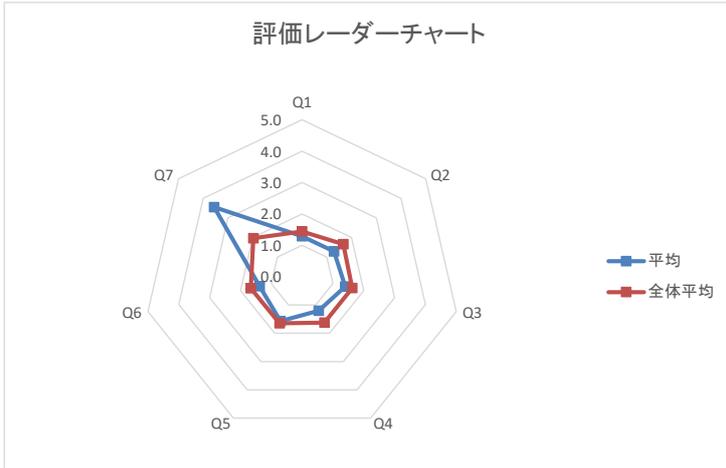
No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q1	(1) 授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であり、適量が身に付いた。適切に示された。	1.3	19	1	0	0	0	1	21	0	1.102
			90.5%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%	0.0%	
Q2	(2) 授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった。	1.3	19	1	0	0	0	1	21	0	1.102
			90.5%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%	0.0%	
Q3	(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた。	1.4	16	3	0	0	0	1	20	1	1.142
			76.2%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	95.2%	4.8%	
Q4	(4) 教員の説明・話し方は、わかりやすかった。	1.2	16	4	0	0	0	0	20	1	0.410
			76.2%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	95.2%	4.8%	
Q5	(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答があった。	1.6	15	4	0	1	0	1	21	0	1.248
			71.4%	19.0%	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	100.0%	0.0%	
Q6	(6) 授業は興味関心の持てる内容であった。	1.4	15	5	0	1	0	0	21	0	0.740
			71.4%	23.8%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
Q7	(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった。	3.6	8	1	0	0	0	9	18	3	2.526
			38.1%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	85.7%	14.3%	

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q8	(8) 授業の内容は理解できた。	1.7	12	7	1	0	0	1	21	0	1.155
			57.1%	33.3%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%	0.0%	
Q9	(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった。	1.6	16	2	0	0	0	2	20	1	1.536
			76.2%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	95.2%	4.8%	
Q10	(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか。	4.3	1	0	7	2	6	5	21	0	1.419
			4.8%	0.0%	33.3%	9.5%	28.6%	23.8%	100.0%	0.0%	

【学習成果 (社会人基礎力)】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q11	(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した。	1.7	11	6	1	1	0	1	20	1	1.281
			52.4%	28.6%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%	95.2%	4.8%	
Q12	(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した。	1.4	16	4	0	0	0	1	21	0	1.121
			76.2%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%	0.0%	
Q13	(13) この授業で、「言語力」が向上した。	2.3	8	6	2	2	1	1	20	1	1.482
			38.1%	28.6%	9.5%	9.5%	4.8%	4.8%	95.2%	4.8%	
Q14	(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した。	1.9	9	8	0	0	0	2	19	2	1.508
			42.9%	38.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	90.5%	9.5%	
Q15	(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した。	2.6	7	3	6	1	1	2	20	1	1.635
			33.3%	14.3%	28.6%	4.8%	4.8%	9.5%	95.2%	4.8%	
Q16	(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した。	2.3	7	7	3	1	0	2	20	1	1.525
			33.3%	33.3%	14.3%	4.8%	0.0%	9.5%	95.2%	4.8%	



2021年度 学生による授業評価アンケート集計結果表

開講所属別

京都ノートルダム女子大学

集計単位	福生デ
------	-----

履修者数	1631	全科目数	
回答者数	591	実施科目数	93

学部学科	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)				科目等履修生	合計	所属学科別回答率
	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生			
国際言語文化学部	英語英文学科	0	1	0	0	1	12.5%
	国際日本文化学科	0	1	0	0	1	14.3%
生活福祉文化学部					0	0	
心理学部					0	0	
現代人間学部	福祉生活デザイン学科	110	292	117	12	531	39.0%
	心理学科	14	14	14	2	44	21.2%
	こども教育学科	0	14	0	0	14	34.1%
科目等履修生, その他					0	0	
合計	124	322	131	14	0	591	
学年別回答率	60.8%	41.7%	26.4%	9.0%	0.0%	36.2%	

※Q10以外 1：そう思う 2：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない
4：どちらかと言えばそう思わない 5：そう思わない 6：該当しない

※Q10 1：4時間以上 2：2~4時間未満 3：1~2時間未満 4：30分~1時間未満 5：30分未満 6：0分

【授業の状況】

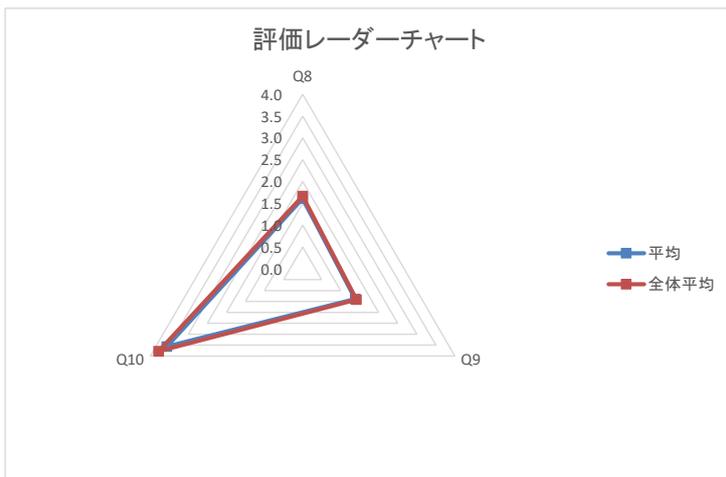
No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q1	(1) 授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であり、適宜がけられた場合に適切に示された。	1.5	361	189	30	6	2	0	588	3	0.674
			61.1%	32.0%	5.1%	1.0%	0.3%	0.0%	99.5%	0.5%	
Q2	(2) 授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった。	1.6	326	192	50	10	7	6	591	0	0.920
			55.2%	32.5%	8.5%	1.7%	1.2%	1.0%	100.0%	0.0%	
Q3	(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた。	1.6	331	188	61	7	3	0	590	1	0.764
			56.0%	31.8%	10.3%	1.2%	0.5%	0.0%	99.8%	0.2%	
Q4	(4) 教員の説明・話し方は、わかりやすかった。	1.6	330	193	46	8	10	0	587	4	0.828
			55.8%	32.7%	7.8%	1.4%	1.7%	0.0%	99.3%	0.7%	
Q5	(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答があった。	1.6	329	187	57	5	7	5	590	1	0.890
			55.7%	31.6%	9.6%	0.8%	1.2%	0.8%	99.8%	0.2%	
Q6	(6) 授業は興味関心の持てる内容であった。	1.6	328	199	44	10	9	0	590	1	0.822
			55.5%	33.7%	7.4%	1.7%	1.5%	0.0%	99.8%	0.2%	
Q7	(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった。	1.5	396	142	27	9	5	8	587	4	0.900
			67.0%	24.0%	4.6%	1.5%	0.8%	1.4%	99.3%	0.7%	

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q8	(8) 授業の内容は理解できた。	1.6	302	237	35	9	4	2	589	2	0.774
			51.1%	40.1%	5.9%	1.5%	0.7%	0.3%	99.7%	0.3%	
Q9	(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった。	1.4	429	112	29	11	4	1	586	5	0.751
			72.6%	19.0%	4.9%	1.9%	0.7%	0.2%	99.2%	0.8%	
Q10	(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか。	3.6	28	91	164	165	103	36	587	4	1.250
			4.7%	15.4%	27.7%	27.9%	17.4%	6.1%	99.3%	0.7%	

【学習成果 (社会人基礎力)】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q11	(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した。	1.9	255	217	92	8	5	6	583	8	0.927
			43.1%	36.7%	15.6%	1.4%	0.8%	1.0%	98.6%	1.4%	
Q12	(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した。	1.5	357	201	25	2	2	0	587	4	0.628
			60.4%	34.0%	4.2%	0.3%	0.3%	0.0%	99.3%	0.7%	
Q13	(13) この授業で、「言語力」が向上した。	2.4	191	182	127	13	23	50	586	5	1.483
			32.3%	30.8%	21.5%	2.2%	3.9%	8.5%	99.2%	0.8%	
Q14	(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した。	1.8	256	229	77	8	8	9	587	4	0.980
			43.3%	38.7%	13.0%	1.4%	1.4%	1.5%	99.3%	0.7%	
Q15	(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した。	2.1	208	185	140	23	14	17	587	4	1.186
			35.2%	31.3%	23.7%	3.9%	2.4%	2.9%	99.3%	0.7%	
Q16	(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した。	2.0	220	207	114	19	12	15	587	4	1.136
			37.2%	35.0%	19.3%	3.2%	2.0%	2.5%	99.3%	0.7%	



2021年度 学生による授業評価アンケート集計結果表

開講所属別

京都ノートルダム女子大学

集計単位	現心
------	----

履修者数	2115	全科目数	
回答者数	505	実施科目数	66

学部学科	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)				科目等履修生	所属学科別回答率	合計
	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生			
国際言語文化学部	英語英文学科	0	0	4	0		4
				100.0%	0.0%		50.0%
国際日本文化学科		0	3	2	0		5
			75.0%	100.0%	0.0%		71.4%
生活福祉文化学部					0		0
心理学部					1		1
				20.0%			20.0%
現代人間学部	福祉生活デザイン学科	0	0	1	1		2
		0.0%	0.0%	25.0%	33.3%		20.0%
	心理学科	147	199	140	7		493
		33.8%	22.4%	23.5%	4.3%		23.7%
こども教育学科	0	0	0	0		0	
			0.0%				0.0%
科目等履修生, その他					0		0
合計	147	202	147	9	0		505
学年別回答率	33.7%	22.6%	24.1%	5.1%	0.0%		23.9%

※Q10以外 1：そう思う 2：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない
4：どちらかと言えばそう思わない 5：そう思わない 6：該当しない

※Q10 1：4時間以上 2：2~4時間未満 3：1~2時間未満 4：30分~1時間未満 5：30分未満 6：0分

【授業の状況】

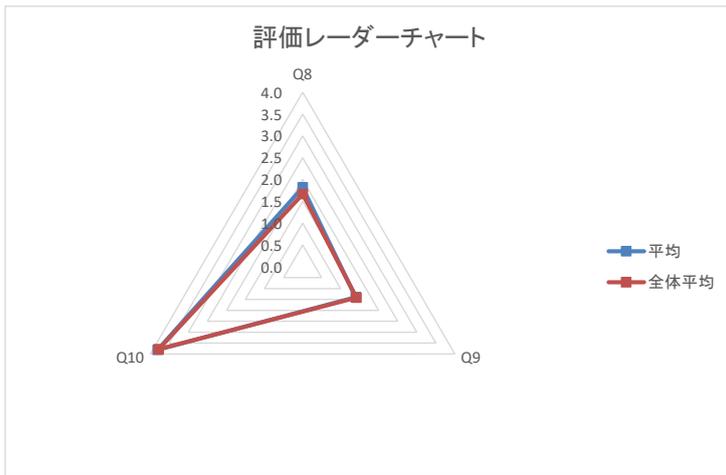
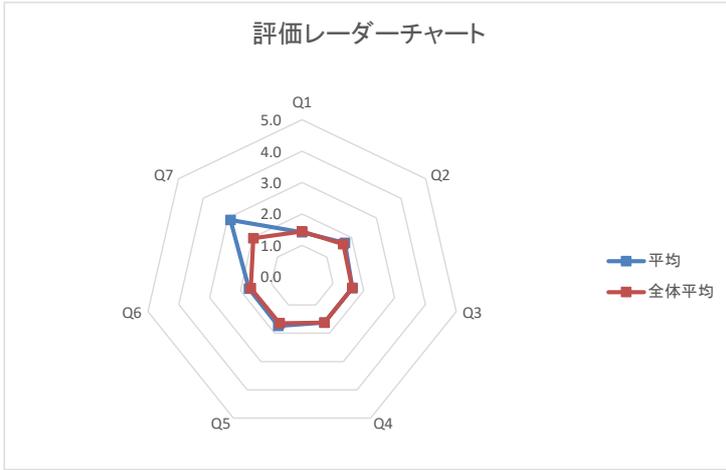
No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q1	(1) 授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であり、学習が主体的に適切に行なわれている。	1.4	332	150	13	4	4	1	504	1	0.691
			65.7%	29.7%	2.6%	0.8%	0.8%	0.2%	99.8%	0.2%	
Q2	(2) 授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすい。	1.7	249	183	47	14	9	3	505	0	0.940
			49.3%	36.2%	9.3%	2.8%	1.8%	0.6%	100.0%	0.0%	
Q3	(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた。	1.6	273	176	33	11	8	2	503	2	0.876
			54.1%	34.9%	6.5%	2.2%	1.6%	0.4%	99.6%	0.4%	
Q4	(4) 教員の説明・話し方は、わかりやすかった。	1.6	292	153	39	7	5	9	505	0	0.974
			57.8%	30.3%	7.7%	1.4%	1.0%	1.8%	100.0%	0.0%	
Q5	(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答があった。	1.7	261	169	45	14	6	10	505	0	1.038
			51.7%	33.5%	8.9%	2.8%	1.2%	2.0%	100.0%	0.0%	
Q6	(6) 授業は興味関心の持てる内容であった。	1.7	250	180	51	15	7	2	505	0	0.910
			49.5%	35.6%	10.1%	3.0%	1.4%	0.4%	100.0%	0.0%	
Q7	(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった。	2.9	199	111	28	16	8	142	504	1	2.105
			39.4%	22.0%	5.5%	3.2%	1.6%	28.1%	99.8%	0.2%	

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q8	(8) 授業の内容は理解できた。	1.8	207	223	49	15	9	2	505	0	0.904
			41.0%	44.2%	9.7%	3.0%	1.8%	0.4%	100.0%	0.0%	
Q9	(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった。	1.4	390	73	23	5	5	9	505	0	0.931
			77.2%	14.5%	4.6%	1.0%	1.0%	1.8%	100.0%	0.0%	
Q10	(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか。	3.8	25	61	138	109	107	65	505	0	1.377
			5.0%	12.1%	27.3%	21.6%	21.2%	12.9%	100.0%	0.0%	

【学習成果 (社会人基礎力)】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q11	(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した。	2.5	184	181	86	15	9	27	502	3	1.290
			36.4%	35.8%	17.0%	3.0%	1.8%	5.3%	99.4%	0.6%	
Q12	(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した。	1.6	284	176	34	4	0	6	504	1	0.817
			56.2%	34.9%	6.7%	0.8%	0.0%	1.2%	99.8%	0.2%	
Q13	(13) この授業で、「言語力」が向上した。	2.8	121	147	104	38	29	63	502	3	1.630
			24.0%	29.1%	20.6%	7.5%	5.7%	12.5%	99.4%	0.6%	
Q14	(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した。	2.0	188	213	61	12	10	17	501	4	1.148
			37.2%	42.2%	12.1%	2.4%	2.0%	3.4%	99.2%	0.8%	
Q15	(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した。	2.6	131	160	113	26	16	59	505	0	1.566
			25.9%	31.7%	22.4%	5.1%	3.2%	11.7%	100.0%	0.0%	
Q16	(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した。	2.7	122	158	116	27	15	67	505	0	1.603
			24.2%	31.3%	23.0%	5.3%	3.0%	13.3%	100.0%	0.0%	



2021年度 学生による授業評価アンケート集計結果表

開講所属別

京都ノートルダム女子大学

集計単位	こども		
履修者数	1861	全科目数	
回答者数	623	実施科目数	84

学部学科	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)				科目等履修生	合計	
	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生			
国際言語文化学部	英語英文学科	0	0	0	0	0	
	国際日本文化学科	0	0	0	0	0	
生活福祉文化学部					0	0	
心理学部					0	0	
現代人間学部	福祉生活デザイン学科	0	0	0	0	0	
	心理学科	0	0	0	0	0	
	こども教育学科	229	209	130	54	622	
科目等履修生, その他					1	1	
合計		229	209	130	54	623	
学年別回答率		63.6%	22.4%	34.6%	28.3%	50.0%	33.5%

※Q10以外 1：そう思う 2：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない
4：どちらかと言えばそう思わない 5：そう思わない 6：該当しない

※Q10 1：4時間以上 2：2～4時間未満 3：1～2時間未満 4：30分～1時間未満 5：30分未満 6：0分

【授業の状況】

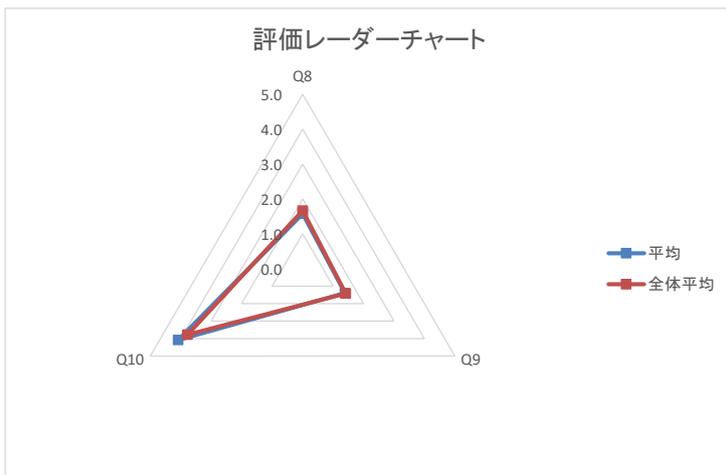
No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q1	(1) 授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であり、進捗が十分な理由も適切に示された。	1.5	376	173	42	5	10	4	610	13	0.874
			60.4%	27.8%	6.7%	0.8%	1.6%	0.6%	97.9%	2.1%	
Q2	(2) 授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった。	1.6	372	159	51	14	9	4	609	14	0.926
			59.7%	25.5%	8.2%	2.2%	1.4%	0.6%	97.8%	2.2%	
Q3	(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた。	1.8	305	186	84	19	12	2	608	15	0.972
			49.0%	29.9%	13.5%	3.0%	1.9%	0.3%	97.6%	2.4%	
Q4	(4) 教員の説明・話し方は、わかりやすかった。	1.6	359	181	45	13	13	1	612	11	0.896
			57.6%	29.1%	7.2%	2.1%	2.1%	0.2%	98.2%	1.8%	
Q5	(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答があった。	1.6	360	171	51	10	14	4	610	13	0.953
			57.8%	27.4%	8.2%	1.6%	2.2%	0.6%	97.9%	2.1%	
Q6	(6) 授業は興味関心の持てる内容であった。	1.6	368	168	48	17	8	0	609	14	0.854
			59.1%	27.0%	7.7%	2.7%	1.3%	0.0%	97.8%	2.2%	
Q7	(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった。	1.6	375	147	52	12	16	9	611	12	1.062
			60.2%	23.6%	8.3%	1.9%	2.6%	1.4%	98.1%	1.9%	

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q8	(8) 授業の内容は理解できた。	1.6	356	187	45	12	7	2	609	14	0.846
			57.1%	30.0%	7.2%	1.9%	1.1%	0.3%	97.8%	2.2%	
Q9	(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった。	1.4	451	108	33	8	9	1	610	13	0.798
			72.4%	17.3%	5.3%	1.3%	1.4%	0.2%	97.9%	2.1%	
Q10	(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか。	4.1	18	56	111	188	146	92	611	12	1.284
			2.9%	9.0%	17.8%	30.2%	23.4%	14.8%	98.1%	1.9%	

【学習成果 (社会人基礎力)】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q11	(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した。	1.8	320	185	70	10	14	4	603	20	0.974
			51.4%	29.7%	11.2%	1.6%	2.2%	0.6%	96.8%	3.2%	
Q12	(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した。	1.5	366	179	42	6	10	2	605	18	0.844
			58.7%	28.7%	6.7%	1.0%	1.6%	0.3%	97.1%	2.9%	
Q13	(13) この授業で、「言語力」が向上した。	2.3	232	165	114	23	21	48	603	20	1.492
			37.2%	26.5%	18.3%	3.7%	3.4%	7.7%	96.8%	3.2%	
Q14	(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した。	1.8	304	185	81	13	12	4	599	24	0.980
			48.8%	29.7%	13.0%	2.1%	1.9%	0.6%	96.1%	3.9%	
Q15	(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した。	1.9	258	201	101	21	15	7	603	20	1.068
			41.4%	32.3%	16.2%	3.4%	2.4%	1.1%	96.8%	3.2%	
Q16	(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した。	1.9	268	195	103	14	14	9	603	20	1.072
			43.0%	31.3%	16.5%	2.2%	2.2%	1.4%	96.8%	3.2%	



2021年度 学生による授業評価アンケート集計結果表

開講所属別

京都ノートルダム女子大学

集計単位	資格		
履修者数	566	全科目数	
回答者数	180	実施科目数	27

学部学科	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)				科目等履修生	合計	所属学科別回答率
	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生			
国際言語文化学部	英語英文学科	5 41.7%	18 36.7%	14 36.8%	5 15.6%	42	32.1%
	国際日本文化学科	14 58.3%	61 42.7%	25 35.2%	5 15.2%	105	38.7%
生活福祉文化学部					0	0	
心理学部					0	0	
現代人間学部	福祉生活デザイン学科	10 43.5%	3 9.1%	0 0.0%	2 14.3%	15	21.1%
	心理学科	0	5 23.8%	3 10.3%	0 0.0%	8	14.3%
	こども教育学科	0 0.0%	3 37.5%	3 27.3%	2 14.3%	8	22.9%
科目等履修生, その他					2	2	
合計		29	90	45	14	2	180
学年別回答率		47.5%	35.4%	30.0%	14.0%	100.0%	31.8%

※Q10以外 1：そう思う 2：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない
4：どちらかと言えばそう思わない 5：そう思わない 6：該当しない

※Q10 1：4時間以上 2：2～4時間未満 3：1～2時間未満 4：30分～1時間未満 5：30分未満 6：0分

【授業の状況】

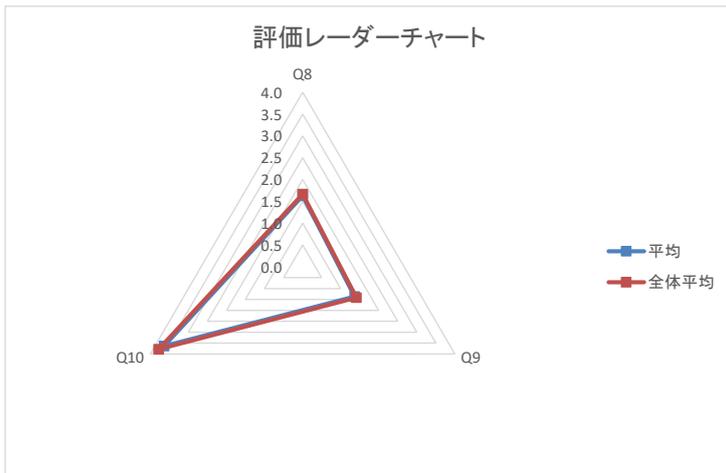
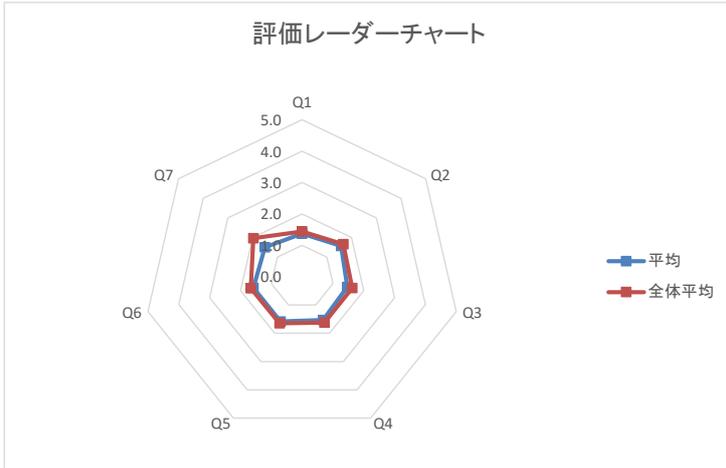
No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q1	(1) 授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であり、適宜が修正された場合に適切に示された。	1.4	124 68.9%	47 26.1%	4 2.2%	1 0.6%	2 1.1%	2 0.0%	178	2	0.670
Q2	(2) 授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった。	1.6	105 58.3%	52 28.9%	14 7.8%	6 3.3%	1 0.6%	0 0.0%	178	2	0.822
Q3	(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた。	1.5	113 62.8%	51 28.3%	10 5.6%	4 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	178	2	0.706
Q4	(4) 教員の説明・話し方は、わかりやすかった。	1.5	100 55.6%	67 37.2%	5 2.8%	3 1.7%	2 1.1%	0 0.0%	177	3	0.739
Q5	(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答があった。	1.6	105 58.3%	52 28.9%	11 6.1%	7 3.9%	2 1.1%	0 0.0%	177	3	0.863
Q6	(6) 授業は興味関心の持てる内容であった。	1.6	92 51.1%	71 39.4%	8 4.4%	5 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	176	4	0.713
Q7	(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった。	1.5	119 66.1%	43 23.9%	4 2.2%	4 2.2%	4 2.2%	2 1.1%	176	4	0.968

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q8	(8) 授業の内容は理解できた。	1.6	84 46.7%	79 43.9%	11 6.1%	2 1.1%	1 0.6%	0 0.0%	177	3	0.705
Q9	(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった。	1.4	132 73.3%	28 15.6%	11 6.1%	3 1.7%	0 0.0%	1 0.6%	175	5	0.760
Q10	(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学修しましたか。	3.6	12 6.7%	16 8.9%	55 30.6%	41 22.8%	40 22.2%	10 5.6%	174	6	1.282

【学習成果 (社会人基礎力)】

No.	設問文	全体平均	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)						有効回答	無効回答	標準偏差
			1	2	3	4	5	6			
Q11	(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した。	2.3	73 40.6%	47 26.1%	40 22.2%	10 5.6%	1 0.6%	2 1.1%	173	7	1.062
Q12	(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した。	1.5	104 57.8%	57 31.7%	10 5.6%	0 0.0%	2 1.1%	1 0.6%	174	6	0.788
Q13	(13) この授業で、「言語力」が向上した。	2.6	47 26.1%	54 30.0%	40 22.2%	10 5.6%	7 3.9%	18 10.0%	176	4	1.538
Q14	(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した。	1.8	83 46.1%	60 33.3%	23 12.8%	4 2.2%	2 1.1%	3 1.7%	175	5	1.021
Q15	(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した。	2.6	48 26.7%	48 26.7%	42 23.3%	17 9.4%	5 2.8%	14 7.8%	174	6	1.464
Q16	(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した。	2.5	51 28.3%	48 26.7%	47 26.1%	11 6.1%	5 2.8%	12 6.7%	174	6	1.405



2022年度前期授業評価アンケート集計結果 全学部

対象科目数 432
 対象者数 10613 回答者数 3872 回答率 36.5% (2021年度 34.5%)

学科別回答率

学部	学科		1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	合計
国際言語 文化学部	英語英文学科	対象者数	280	595	775	340	1990
		回答者数	146	247	160	93	646
		回答率	52.1%	41.5%	20.6%	27.4%	32.5%
	国際日本文化学科	対象者数	415	456	657	204	1732
		回答者数	212	174	235	79	700
		回答率	51.1%	38.2%	35.8%	38.7%	40.4%
現代人間 学部	生活環境学科 福祉生活デザイン学科	対象者数	629	551	570	164	1914
		回答者数	321	235	140	39	735
		回答率	51.0%	42.6%	24.6%	23.8%	38.4%
	心理学科 心理学部	対象者数	743	897	826	297	2763
		回答者数	485	355	146	67	1053
		回答率	65.3%	39.6%	17.7%	22.6%	38.1%
	こども教育学科	対象者数	570	815	658	159	2202
		回答者数	277	255	191	12	735
		回答率	48.6%	31.3%	29.0%	7.5%	33.4%
科目等履修生等	対象者数	0	0	3	9	12	
	回答者数	0	0	2	1	3	
	回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	66.7%	11.1%	25.0%	
合計	対象者数	2637	3314	3489	1173	10613	
	回答者数	1441	1266	874	291	3872	
	回答率	54.6%	38.2%	25.1%	24.8%	36.5%	

【回答項目について】

①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない ④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない ⑥該当しない
 ①4時間以上 ②2~4時間未満 ③1~2時間未満 ④30分~1時間未満 ⑤30分未満 ⑥0分

【授業の状況】

4. 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であり、変更が生じた場合も適切に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3839	2856	770	130	37	38	8	33
	74.4%	20.1%	3.4%	1.0%	1.0%	0.2%	

5. 成績評価の仕方が明確に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3832	2579	868	246	68	55	16	40
	67.3%	22.7%	6.4%	1.8%	1.4%	0.4%	

6. 授業中に使う教材（テキスト・配付資料など）、教員の説明・話し方はわかりやすかったですか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3828	2462	896	264	100	98	8	44
	64.3%	23.4%	6.9%	2.6%	2.6%	0.2%	

7. 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答がありましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3815	2481	888	268	82	76	20	57
	65.0%	23.3%	7.0%	2.1%	2.0%	0.5%	

【学習の状況・成果】

9. この授業について主体的な態度で参加しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3830	2413	1039	279	55	38	6	42
	63.0%	27.1%	7.3%	1.4%	1.0%	0.2%	

10. この授業について授業以外1週間あたり、どのくらい学修しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3819	124	358	784	1022	1108	423	53
	3.2%	9.4%	20.5%	26.8%	29.0%	11.1%	

11. この授業に満足していますか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3794	2220	1062	307	97	100	8	78
	58.5%	28.0%	8.1%	2.6%	2.6%	0.2%	

【ND6】関連項目

12. この授業で「自分を育てる力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3794	1863	1099	538	95	79	120	78
	49.1%	29.0%	14.2%	2.5%	2.1%	3.2%	

13. この授業で「知識・理解力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3798	2375	1056	239	52	53	23	74
	62.5%	27.8%	6.3%	1.4%	1.4%	0.6%	

14. この授業で「言語力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3800	1571	943	650	171	128	337	72
	41.3%	24.8%	17.1%	4.5%	3.4%	8.9%	

15. この授業で「思考・解決力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3777	1859	1192	430	111	71	114	95
	49.2%	31.6%	11.4%	2.9%	1.9%	3.0%	

16. この授業で「共生・協働する力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3803	1546	971	720	184	142	240	69
	40.7%	25.5%	18.9%	4.8%	3.7%	6.3%	

17. この授業で「創造・発信力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
3817	1570	1089	687	151	122	198	55
	41.1%	28.5%	18.0%	4.0%	3.2%	5.2%	

2022年度前期授業評価アンケート集計結果 共通教育科目

対象科目数 124
 対象者数 3239 回答者数 1260 回答率 38.9% (2021年度 39.0%)

学科別回答率

学部	学科		1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	合計
国際言語 文化学部	英語英文学科	対象者数	103	173	226	99	601
		回答者数	60	45	42	20	167
		回答率	58.3%	26.0%	18.6%	20.2%	27.8%
	国際日本文化学科	対象者数	238	137	173	52	600
		回答者数	131	55	51	20	257
		回答率	55.0%	40.1%	29.5%	38.5%	42.8%
現代人間 学部	生活環境学科 福祉生活デザイン学科	対象者数	364	136	77	29	606
		回答者数	184	38	17	8	247
		回答率	50.5%	27.9%	22.1%	27.6%	40.8%
	心理学科 心理学部	対象者数	465	157	156	52	830
		回答者数	294	51	29	6	380
		回答率	63.2%	32.5%	18.6%	11.5%	45.8%
	こども教育学科	対象者数	292	81	164	65	602
		回答者数	153	19	30	7	209
		回答率	52.4%	23.5%	18.3%	10.8%	34.7%
科目等履修生等		対象者数	0	0	0	0	0
		回答者数	0	0	0	0	0
		回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計		対象者数	1462	684	796	297	3239
		回答者数	822	208	169	61	1260
		回答率	56.2%	30.4%	21.2%	20.5%	38.9%

【回答項目について】

①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない ④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない ⑥該当しない
 ①4時間以上 ②2~4時間未満 ③1~2時間未満 ④30分~1時間未満 ⑤30分未満 ⑥0分

【授業の状況】

4. 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であり、変更が生じた場合も適切に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1248	944 75.6%	222 17.8%	49 3.9%	13 1.0%	17 1.4%	3 0.2%	12

5. 成績評価の仕方が明確に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1244	840 67.5%	271 21.8%	83 6.7%	27 2.2%	18 1.4%	5 0.4%	16

6. 授業中に使う教材（テキスト・配付資料など）、教員の説明・話し方はわかりやすかったですか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1241	820 66.1%	253 20.4%	82 6.6%	39 3.1%	45 3.6%	2 0.2%	19

7. 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答がありましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1241	807 65.0%	272 21.9%	91 7.3%	26 2.1%	34 2.7%	11 0.9%	19

【学習の状況・成果】

9. この授業について主体的な態度で参加しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1248	785	319	100	23	18	3	12
	62.9%	25.6%	8.0%	1.8%	1.4%	0.2%	

10. この授業について授業以外1週間あたり、どのくらい学修しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1244	31	96	273	332	358	154	16
	2.5%	7.7%	21.9%	26.7%	28.8%	12.4%	

11. この授業に満足していますか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1233	717	323	108	34	47	4	27
	58.2%	26.2%	8.8%	2.8%	3.8%	0.3%	

【ND6】関連項目

12. この授業で「自分を育てる力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1229	587	325	201	36	38	42	31
	47.8%	26.4%	16.4%	2.9%	3.1%	3.4%	

13. この授業で「知識・理解力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1231	724	356	88	25	29	9	29
	58.8%	28.9%	7.1%	2.0%	2.4%	0.7%	

14. この授業で「言語力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1234	511	292	211	66	58	96	26
	41.4%	23.7%	17.1%	5.3%	4.7%	7.8%	

15. この授業で「思考・解決力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1224	558	375	161	49	36	45	36
	45.6%	30.6%	13.2%	4.0%	2.9%	3.7%	

16. この授業で「共生・協働する力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1236	472	281	267	67	58	91	24
	38.2%	22.7%	21.6%	5.4%	4.7%	7.4%	

17. この授業で「創造・発信力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
1243	469	351	249	49	52	73	17
	37.7%	28.2%	20.0%	3.9%	4.2%	5.9%	

2022年度前期授業評価アンケート集計結果 英語英文学科専門教育科目

対象科目数 91
 対象者数 1295 回答者数 445 回答率 34.4% (2021年度 27.1%)

学科別回答率

学部	学科		1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	合計
国際言語 文化学部	英語英文学科	対象者数	169	387	473	193	1222
		回答者数	83	185	93	59	420
		回答率	49.1%	47.8%	19.7%	30.6%	34.4%
	国際日本文化学科	対象者数	1	11	24	14	50
		回答者数	1	5	7	6	19
		回答率	100.0%	45.5%	29.2%	42.9%	38.0%
現代人間 学部	生活環境学科 福祉生活デザイン学科	対象者数	0	3	4	3	10
		回答者数	0	1	1	1	3
		回答率	#DIV/0!	33.3%	25.0%	33.3%	30.0%
	心理学科 心理学部	対象者数	1	1	3	2	7
		回答者数	0	0	2	0	2
		回答率	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	28.6%
	こども教育学科	対象者数	0	0	0	1	1
		回答者数	0	0	0	0	0
		回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%	0.0%
科目等履修生等	対象者数	0	0	0	5	5	
	回答者数	0	0	0	1	1	
	回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	20.0%	20.0%	
合計	対象者数	171	402	504	218	1295	
	回答者数	84	191	103	67	445	
	回答率	49.1%	47.5%	20.4%	30.7%	34.4%	

【回答項目について】

①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない ④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない ⑥該当しない
 ①4時間以上 ②2~4時間未満 ③1~2時間未満 ④30分~1時間未満 ⑤30分未満 ⑥0分

【授業の状況】

4. 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であり、変更が生じた場合も適切に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
443	341 77.0%	84 19.0%	7 1.6%	5 1.1%	5 1.1%	1 0.2%	2

5. 成績評価の仕方が明確に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
441	315 71.4%	91 20.6%	19 4.3%	10 2.3%	3 0.7%	3 0.7%	4

6. 授業中に使う教材（テキスト・配付資料など）、教員の説明・話し方はわかりやすかったですか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
443	304 68.6%	97 21.9%	26 5.9%	9 2.0%	7 1.6%	0 0.0%	2

7. 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答がありましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
439	310 70.6%	90 20.5%	24 5.5%	9 2.1%	6 1.4%	0 0.0%	6

【学習の状況・成果】

9. この授業について主体的な態度で参加しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
441	303	108	22	5	1	2	4
	68.7%	24.5%	5.0%	1.1%	0.2%	0.5%	

10. この授業について授業以外1週間あたり、どのくらい学修しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
437	21	61	101	142	90	22	8
	4.8%	14.0%	23.1%	32.5%	20.6%	5.0%	

11. この授業に満足していますか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
433	279	108	26	9	11	0	12
	64.4%	24.9%	6.0%	2.1%	2.5%	0.0%	

【ND6】関連項目

12. この授業で「自分を育てる力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
439	253	113	51	8	2	12	6
	57.6%	25.7%	11.6%	1.8%	0.5%	2.7%	

13. この授業で「知識・理解力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
438	305	103	19	7	2	2	7
	69.6%	23.5%	4.3%	1.6%	0.5%	0.5%	

14. この授業で「言語力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
437	257	100	45	12	10	13	8
	58.8%	22.9%	10.3%	2.7%	2.3%	3.0%	

15. この授業で「思考・解決力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
433	259	110	37	13	4	10	12
	59.8%	25.4%	8.5%	3.0%	0.9%	2.3%	

16. この授業で「共生・協働する力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
436	248	94	47	13	13	21	9
	56.9%	21.6%	10.8%	3.0%	3.0%	4.8%	

17. この授業で「創造・発信力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
439	233	114	56	10	12	14	6
	53.1%	26.0%	12.8%	2.3%	2.7%	3.2%	

2022年度前期授業評価アンケート集計結果 国際日本文化学科専門教育科目

対象科目数 56
 対象者数 996 回答者数 401 回答率 40.3% (2021年度 39.0%)

学科別回答率

学部	学科		1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	合計
国際言語 文化学部	英語英文学科	対象者数	4	14	24	25	67
		回答者数	1	7	11	8	27
		回答率	25.0%	50.0%	45.8%	32.0%	40.3%
	国際日本文化学科	対象者数	151	250	351	104	856
		回答者数	66	92	148	42	348
		回答率	43.7%	36.8%	42.2%	40.4%	40.7%
現代人間 学部	生活環境学科 福祉生活デザイン学科	対象者数	4	2	15	3	24
		回答者数	2	2	3	0	7
		回答率	50.0%	100.0%	20.0%	0.0%	29.2%
	心理学科 心理学部	対象者数	5	6	10	23	44
		回答者数	3	2	3	7	15
		回答率	60.0%	33.3%	30.0%	30.4%	34.1%
	こども教育学科	対象者数	0	3	2	0	5
		回答者数	0	3	1	0	4
		回答率	#DIV/0!	100.0%	50.0%	#DIV/0!	80.0%
科目等履修生等	対象者数	0	0	0	0	0	
	回答者数	0	0	0	0	0	
	回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
合計	対象者数	164	275	402	155	996	
	回答者数	72	106	166	57	401	
	回答率	43.9%	38.5%	41.3%	36.8%	40.3%	

【回答項目について】

①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない ④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない ⑥該当しない
 ①4時間以上 ②2~4時間未満 ③1~2時間未満 ④30分~1時間未満 ⑤30分未満 ⑥0分

【授業の状況】

4. 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であり、変更が生じた場合も適切に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
400	305 76.3%	76 19.0%	12 3.0%	4 1.0%	3 0.8%	0 0.0%	1

5. 成績評価の仕方が明確に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
401	291 72.6%	81 20.2%	18 4.5%	4 1.0%	6 1.5%	1 0.2%	0

6. 授業中に使う教材（テキスト・配付資料など）、教員の説明・話し方はわかりやすかったですか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
399	263 65.9%	97 24.3%	29 7.3%	6 1.5%	2 0.5%	2 0.5%	2

7. 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答がありましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
397	276 69.5%	92 23.2%	22 5.5%	3 0.8%	3 0.8%	1 0.3%	4

【学習の状況・成果】

9. この授業について主体的な態度で参加しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
400	257	96	37	7	3	0	1
	64.3%	24.0%	9.3%	1.8%	0.8%	0.0%	

10. この授業について授業以外1週間あたり、どのくらい学修しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
398	16	32	82	105	122	41	3
	4.0%	8.0%	20.6%	26.4%	30.7%	10.3%	

11. この授業に満足していますか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
398	255	103	28	6	5	1	3
	64.1%	25.9%	7.0%	1.5%	1.3%	0.3%	

【ND6】関連項目

12. この授業で「自分を育てる力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
399	223	98	54	8	6	10	2
	55.9%	24.6%	13.5%	2.0%	1.5%	2.5%	

13. この授業で「知識・理解力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
398	265	107	20	2	3	1	3
	66.6%	26.9%	5.0%	0.5%	0.8%	0.3%	

14. この授業で「言語力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
396	192	97	55	11	7	34	5
	48.5%	24.5%	13.9%	2.8%	1.8%	8.6%	

15. この授業で「思考・解決力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
395	205	114	51	9	5	11	6
	51.9%	28.9%	12.9%	2.3%	1.3%	2.8%	

16. この授業で「共生・協働する力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
398	164	80	86	21	11	36	3
	41.2%	20.1%	21.6%	5.3%	2.8%	9.0%	

17. この授業で「創造・発信力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
400	185	97	70	20	4	24	1
	46.3%	24.3%	17.5%	5.0%	1.0%	6.0%	

2022年度前期授業評価アンケート集計結果 現代人間学部共通科目

対象科目数 3
 対象者数 48 回答者数 8 回答率 16.7% (2021年度 24.6%)

学科別回答率

学部	学科		1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	合計
国際言語 文化学部	英語英文学科	対象者数	0	0	0	0	0
		回答者数	0	0	0	0	0
		回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	国際日本文化学科	対象者数	0	0	0	0	0
		回答者数	0	0	0	0	0
		回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
現代人間 学部	生活環境学科 福祉生活デザイン学科	対象者数	7	1	1	2	11
		回答者数	3	0	0	0	3
		回答率	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%
	心理学科 心理学部	対象者数	4	0	9	4	17
		回答者数	3	0	0	0	3
		回答率	75.0%	#DIV/0!	0.0%	0.0%	17.6%
	こども教育学科	対象者数	2	0	14	4	20
		回答者数	2	0	0	0	2
		回答率	100.0%	#DIV/0!	0.0%	0.0%	10.0%
科目等履修生等		対象者数	0	0	0	0	0
		回答者数	0	0	0	0	0
		回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計		対象者数	13	1	24	10	48
		回答者数	8	0	0	0	8
		回答率	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%

【回答項目について】

①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない ④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない ⑥該当しない
 ①4時間以上 ②2~4時間未満 ③1~2時間未満 ④30分~1時間未満 ⑤30分未満 ⑥0分

【授業の状況】

4. 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であり、変更が生じた場合も適切に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
8	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0

5. 成績評価の仕方が明確に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
8	3 37.5%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0

6. 授業中に使う教材（テキスト・配付資料など）、教員の説明・話し方はわかりやすかったですか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
8	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0

7. 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答がありましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
8	4 50.0%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0

【学習の状況・成果】

9. この授業について主体的な態度で参加しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
8	5	2	1	0	0	0	0
	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	

10. この授業について授業以外1週間あたり、どのくらい学修しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
7	1	1	1	4	0	0	1
	14.3%	14.3%	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	

11. この授業に満足していますか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
8	2	5	0	1	0	0	0
	25.0%	62.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	

【ND6】関連項目

12. この授業で「自分を育てる力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
7	3	3	1	0	0	0	1
	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	

13. この授業で「知識・理解力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
7	4	2	1	0	0	0	1
	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	

14. この授業で「言語力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
7	4	1	2	0	0	0	1
	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	

15. この授業で「思考・解決力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
8	5	2	1	0	0	0	0
	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	

16. この授業で「共生・協働する力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
8	5	3	0	0	0	0	0
	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

17. この授業で「創造・発信力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
8	2	6	0	0	0	0	0
	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

2022年度前期授業評価アンケート集計結果 生活環境学科・福祉生活デザイン学科専門教育科目

対象科目数 67
 対象者数 1597 回答者数 524 回答率 32.8% (2021年度 35.0%)

学科別回答率

学部	学科		1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	合計
国際言語 文化学部	英語英文学科	対象者数	0	0	14	12	26
		回答者数	0	0	1	3	4
		回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	7.1%	25.0%	15.4%
	国際日本文化学科	対象者数	0	6	20	13	39
		回答者数	0	0	5	5	10
		回答率	#DIV/0!	0.0%	25.0%	38.5%	25.6%
現代人間 学部	生活環境学科 福祉生活デザイン学科	対象者数	235	340	430	116	1121
		回答者数	121	165	108	29	423
		回答率	51.5%	48.5%	25.1%	25.0%	37.7%
	心理学科 心理学部	対象者数	22	126	127	58	333
		回答者数	10	30	19	11	70
		回答率	45.5%	23.8%	15.0%	19.0%	21.0%
	こども教育学科	対象者数	0	58	1	17	76
		回答者数	0	16	0	1	17
		回答率	#DIV/0!	27.6%	0.0%	5.9%	22.4%
科目等履修生等	対象者数	0	0	0	2	2	
	回答者数	0	0	0	0	0	
	回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%	0.0%	
合計	対象者数	257	530	592	218	1597	
	回答者数	131	211	133	49	524	
	回答率	51.0%	39.8%	22.5%	22.5%	32.8%	

【回答項目について】

①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない ④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない ⑥該当しない
 ①4時間以上 ②2~4時間未満 ③1~2時間未満 ④30分~1時間未満 ⑤30分未満 ⑥0分

【授業の状況】

4. 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であり、変更が生じた場合も適切に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
513	367 71.5%	122 23.8%	16 3.1%	5 1.0%	3 0.6%	0 0.0%	11

5. 成績評価の仕方が明確に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
510	339 66.5%	115 22.5%	43 8.4%	9 1.8%	4 0.8%	0 0.0%	14

6. 授業中に使う教材（テキスト・配付資料など）、教員の説明・話し方はわかりやすかったですか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
511	305 59.7%	138 27.0%	44 8.6%	10 2.0%	14 2.7%	0 0.0%	13

7. 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答がありましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
509	315 61.9%	129 25.3%	46 9.0%	9 1.8%	7 1.4%	3 0.6%	15

【学習の状況・成果】

9. この授業について主体的な態度で参加しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
508	334	125	37	3	9	0	16
	65.7%	24.6%	7.3%	0.6%	1.8%	0.0%	

10. この授業について授業以外1週間あたり、どのくらい学修しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
512	23	65	116	128	137	43	12
	4.5%	12.7%	22.7%	25.0%	26.8%	8.4%	

11. この授業に満足していますか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
508	287	151	42	16	12	0	16
	56.5%	29.7%	8.3%	3.1%	2.4%	0.0%	

【ND6】関連項目

12. この授業で「自分を育てる力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
508	247	157	69	7	10	18	16
	48.6%	30.9%	13.6%	1.4%	2.0%	3.5%	

13. この授業で「知識・理解力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
506	315	150	26	6	6	3	18
	62.3%	29.6%	5.1%	1.2%	1.2%	0.6%	

14. この授業で「言語力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
508	176	136	94	15	13	74	16
	34.6%	26.8%	18.5%	3.0%	2.6%	14.6%	

15. この授業で「思考・解決力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
505	237	178	50	15	8	17	19
	46.9%	35.2%	9.9%	3.0%	1.6%	3.4%	

16. この授業で「共生・協働する力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
510	206	142	96	18	16	32	14
	40.4%	27.8%	18.8%	3.5%	3.1%	6.3%	

17. この授業で「創造・発信力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
511	218	142	86	24	16	25	13
	42.7%	27.8%	16.8%	4.7%	3.1%	4.9%	

2022年度前期授業評価アンケート集計結果 心理学科専門教育科目

対象科目数 28
 対象者数 1594 回答者数 608 回答率 38.1% (2021年度 29.0%)

学科別回答率

学部	学科		1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	合計
国際言語 文化学部	英語英文学科	対象者数	0	0	9	4	13
		回答者数	0	0	4	1	5
		回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	44.4%	25.0%	38.5%
	国際日本文化学科	対象者数	0	5	26	8	39
		回答者数	0	1	11	2	14
		回答率	#DIV/0!	20.0%	42.3%	25.0%	35.9%
現代人間 学部	生活環境学科 福祉生活デザイン学科	対象者数	9	10	17	9	45
		回答者数	6	1	4	1	12
		回答率	66.7%	10.0%	23.5%	11.1%	26.7%
	心理学科 心理学部	対象者数	240	591	510	149	1490
		回答者数	171	269	93	41	574
		回答率	71.3%	45.5%	18.2%	27.5%	38.5%
	こども教育学科	対象者数	0	1	1	1	3
		回答者数	0	1	0	0	1
		回答率	#DIV/0!	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%
科目等履修生等	対象者数	0	0	3	1	4	
	回答者数	0	0	2	0	2	
	回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	66.7%	0.0%	50.0%	
合計	対象者数	249	607	566	172	1594	
	回答者数	177	272	114	45	608	
	回答率	71.1%	44.8%	20.1%	26.2%	38.1%	

【回答項目について】

①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない ④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない ⑥該当しない
 ①4時間以上 ②2~4時間未満 ③1~2時間未満 ④30分~1時間未満 ⑤30分未満 ⑥0分

【授業の状況】

4. 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であり、変更が生じた場合も適切に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
606	440 72.6%	140 23.1%	20 3.3%	3 0.5%	3 0.5%	0 0.0%	2

5. 成績評価の仕方が明確に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
605	376 62.1%	166 27.4%	47 7.8%	10 1.7%	6 1.0%	0 0.0%	3

6. 授業中に使う教材（テキスト・配付資料など）、教員の説明・話し方はわかりやすかったですか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
606	363 59.9%	166 27.4%	45 7.4%	20 3.3%	11 1.8%	1 0.2%	2

7. 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答がありましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
600	367 61.2%	164 27.3%	45 7.5%	15 2.5%	7 1.2%	2 0.3%	8

【学習の状況・成果】

9. この授業について主体的な態度で参加しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
606	356	203	37	6	3	1	2
	58.7%	33.5%	6.1%	1.0%	0.5%	0.2%	

10. この授業について授業以外1週間あたり、どのくらい学修しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
605	14	55	104	166	203	63	3
	2.3%	9.1%	17.2%	27.4%	33.6%	10.4%	

11. この授業に満足していますか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
600	328	199	50	15	7	1	8
	54.7%	33.2%	8.3%	2.5%	1.2%	0.2%	

【ND6】関連項目

12. この授業で「自分を育てる力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
598	236	214	97	17	9	25	10
	39.5%	35.8%	16.2%	2.8%	1.5%	4.2%	

13. この授業で「知識・理解力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
601	366	186	36	5	5	3	7
	60.9%	30.9%	6.0%	0.8%	0.8%	0.5%	

14. この授業で「言語力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
602	180	168	124	37	19	74	6
	29.9%	27.9%	20.6%	6.1%	3.2%	12.3%	

15. この授業で「思考・解決力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
595	278	225	59	14	4	15	13
	46.7%	37.8%	9.9%	2.4%	0.7%	2.5%	

16. この授業で「共生・協働する力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
600	189	196	119	44	16	36	8
	31.5%	32.7%	19.8%	7.3%	2.7%	6.0%	

17. この授業で「創造・発信力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
599	192	204	120	35	11	37	9
	32.1%	34.1%	20.0%	5.8%	1.8%	6.2%	

2022年度前期授業評価アンケート集計結果 こども教育学科専門教育科目

対象科目数 58
 対象者数 1465 回答者数 488 回答率 33.3% (2021年度 32.8%)

学科別回答率

学部	学科		1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	合計
国際言語 文化学部	英語英文学科	対象者数	0	0	1	0	1
		回答者数	0	0	1	0	1
		回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!	100.0%
	国際日本文化学科	対象者数	0	0	2	1	3
		回答者数	0	0	0	0	0
		回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0.0%
現代人間 学部	生活環境学科 福祉生活デザイン学科	対象者数	0	0	0	0	0
		回答者数	0	0	0	0	0
		回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	心理学科 心理学部	対象者数	0	0	0	0	0
		回答者数	0	0	0	0	0
		回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	こども教育学科	対象者数	276	668	450	66	1460
		回答者数	122	214	149	2	487
		回答率	44.2%	32.0%	33.1%	3.0%	33.4%
科目等履修生等	対象者数	0	0	0	1	1	
	回答者数	0	0	0	0	0	
	回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%	0.0%	
合計	対象者数	276	668	453	68	1465	
	回答者数	122	214	150	2	488	
	回答率	44.2%	32.0%	33.1%	2.9%	33.3%	

【回答項目について】

①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない ④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない ⑥該当しない
 ①4時間以上 ②2~4時間未満 ③1~2時間未満 ④30分~1時間未満 ⑤30分未満 ⑥0分

【授業の状況】

4. 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であり、変更が生じた場合も適切に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
485	345 71.1%	103 21.2%	20 4.1%	7 1.4%	7 1.4%	3 0.6%	3

5. 成績評価の仕方が明確に示されていましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
486	325 66.9%	113 23.3%	22 4.5%	5 1.0%	15 3.1%	6 1.2%	2

6. 授業中に使う教材（テキスト・配付資料など）、教員の説明・話し方はわかりやすかったですか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
485	323 66.6%	106 21.9%	22 4.5%	13 2.7%	19 3.9%	2 0.4%	3

7. 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答がありましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
485	320 66.0%	101 20.8%	26 5.4%	16 3.3%	19 3.9%	3 0.6%	3

【学習の状況・成果】

9. この授業について主体的な態度で参加しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
484	293	149	33	7	2	0	4
	60.5%	30.8%	6.8%	1.4%	0.4%	0.0%	

10. この授業について授業以外1週間あたり、どのくらい学修しましたか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
482	15	37	81	116	148	85	6
	3.1%	7.7%	16.8%	24.1%	30.7%	17.6%	

11. この授業に満足していますか。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
479	279	130	37	14	17	2	9
	58.2%	27.1%	7.7%	2.9%	3.5%	0.4%	

【ND6】関連項目

12. この授業で「自分を育てる力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
481	251	147	49	12	14	8	7
	52.2%	30.6%	10.2%	2.5%	2.9%	1.7%	

13. この授業で「知識・理解力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
482	311	113	41	6	7	4	6
	64.5%	23.4%	8.5%	1.2%	1.5%	0.8%	

14. この授業で「言語力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
484	211	114	93	24	15	27	4
	43.6%	23.6%	19.2%	5.0%	3.1%	5.6%	

15. この授業で「思考・解決力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
482	254	148	52	6	13	9	6
	52.7%	30.7%	10.8%	1.2%	2.7%	1.9%	

16. この授業で「共生・協働する力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
481	217	140	77	11	24	12	7
	45.1%	29.1%	16.0%	2.3%	5.0%	2.5%	

17. この授業で「創造・発信力」が身についた。

有効回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答
482	222	143	73	8	24	12	6
	46.1%	29.7%	15.1%	1.7%	5.0%	2.5%	

II 2022年度「大学院生による教育評価アンケート」実施報告

1. 実施目的

「大学院生による教育評価アンケート」は、大学院における教育内容の改善及び教育プログラムの充実に役立てることを目的に実施している。

2. 実施方法

1) 実施期間

2022年12月9日（金）～2023年2月20日（月）

2) 調査対象者

調査対象者：全研究科の大学院生

3) 在籍者数・回収数・回収率

研究科	専攻科	在籍者数 (名)	回答者数 (名)	回答率
人間文化研究科	応用英語専攻	4	3	75.0%
	人間文化専攻	1	1	100.0%
	研究科計	5	4	80.0%
	臨床心理学専攻	16	4	76.5%
	心理学専攻	1	0	100.0%
	研究科計	17	4	77.8%
	計		22	8

4) 調査内容

調査項目については、FD委員会にて検討し、昨年度と同様の調査項目とした。冒頭で、回答者の属性（学年・所属研究科（専攻））を尋ねた。設問は選択式10問、自由記述3問とした。

調査項目

(1) 評価項目

- ① 学位取得のための道筋が明確に示されている
- ② 提示されたカリキュラムは納得のいくものである
- ③ 授業時間割はバランスよく配置されている
- ④ 提供される科目の授業内容が明確に示されている
- ⑤ 個々の授業はシラバスに準拠して、適切に進められている
- ⑥ 研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている
- ⑦ オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている
- ⑧ 研究科（専攻）、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている

- ⑨ 自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている
- ⑩ キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている

選択式設問①～⑩は、以下の5件法で回答を求めた。

- 5：そう思う
- 4：どちらかと言えばそう思う
- 3：どちらとも言えない
- 2：どちらかと言えばそう思わない
- 1：そう思わない

自由記述

- ① ご自身のキャリア形成や大学による就職支援等について、ご意見、ご希望等があれば入力してください。
- ② あなたが所属する研究科（専攻）の教育内容全体について「よかった点」を記入してください。
- ③ あなたが所属する研究科（専攻）の教育内容全体について「改善すべき点」を記入してください。

5) 実施手順

実施に当たっては、研究・情報推進課にてオンラインアンケートツール SurveyMonkey にアンケートを作成し、大学院生に回答を依頼するメールを送信した。

6) 結果の集計

研究・情報推進課にて集計し、集計結果シートを作成した。

7) 集計結果の配付と活用

- ・ 集計結果を研究科に報告し、各研究科における教育改善等に活用することを依頼した。
- ・ 課長会を通じて事務局の各部署に集計結果を配付し、教育環境等の改善に活用することを依頼した。

4. 「大学院生による教育評価アンケート」全学的観点から見た現状と今後の課題

まず、今年度の「大学院生による教育評価アンケート」は、回収率が全研究科で 36.4%と低かった（昨年度 78.3%）。これは、心理学研究科の低い回収率（23.5%；昨年度 77.8%）が反映されたものであり、この点がまず、大きな課題であると考えられる。今年度、心理学研究科では、昨年度同様、FD 委員が全員の集まる授業で周知を行っている。それにもかかわらず、回収率が低くとどまった要因の分析とともに、全体的な周知徹底に加えての方策を検討する必要があるだろう。

集計結果を見ると、人間文化研究科では「Q7. オフィスアワー等、大学院生活を送る上で教員に相談できる制度が整っている」を除くほぼすべての設問で、平均が 4.5 ポイントを超えている。自由記述でも「どの先生方も親身になって相談に乗ってくださる」「親身になって研究をサポートして下さる」などの記述がみられており、満足度が高い様子がうかがえる。一方、心理学研究科では、「Q3. 授業時間割はバランスよく配置されている」「Q7. オフィスアワー等、大学院生活を送る上で教員に相談できる制度が整っている」「Q10. キャリア形成や資格取得に関して適切な指導、相談が行われている」で平均が 4.0 ポイントを下回っている。自由記述では、「各科目において、先生方がとても熱心にご指導くださいます」といった記述のほか、「授業と学内・学外実習、修論を併行してこなさなくてはならず、各科目を丁寧に勉強することができません。学生も先生も余裕がなく、いつも追われている感じがします」との記述も見られている。自由記述には、その他、具体的な要望等も書かれていることから、内容を吟味し、改善点を検討していくことが必要であろう。

文責：三好 智子（現代人間学部 心理学科 FD 委員）

■専攻

回答者数	8
------	---

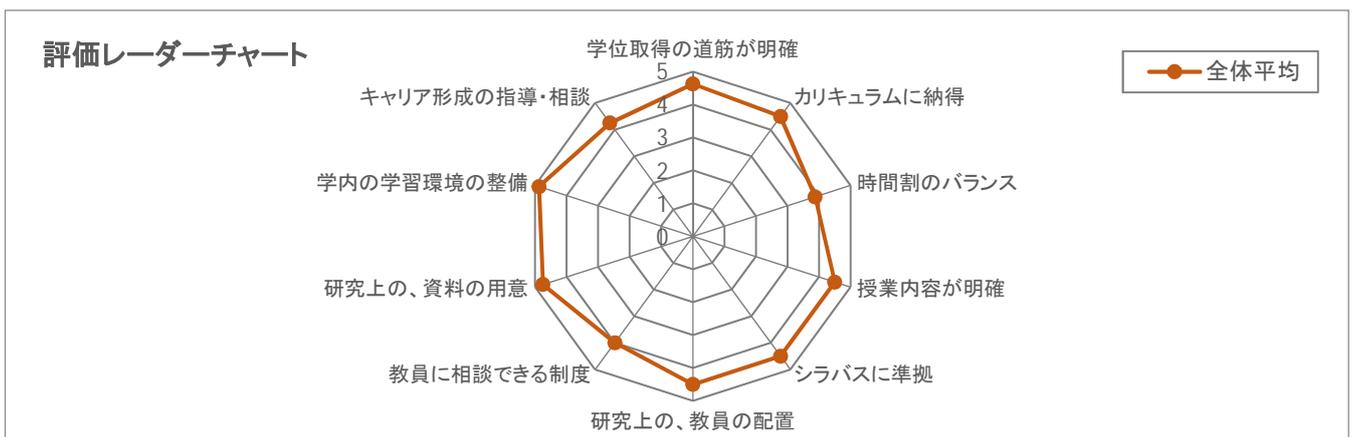
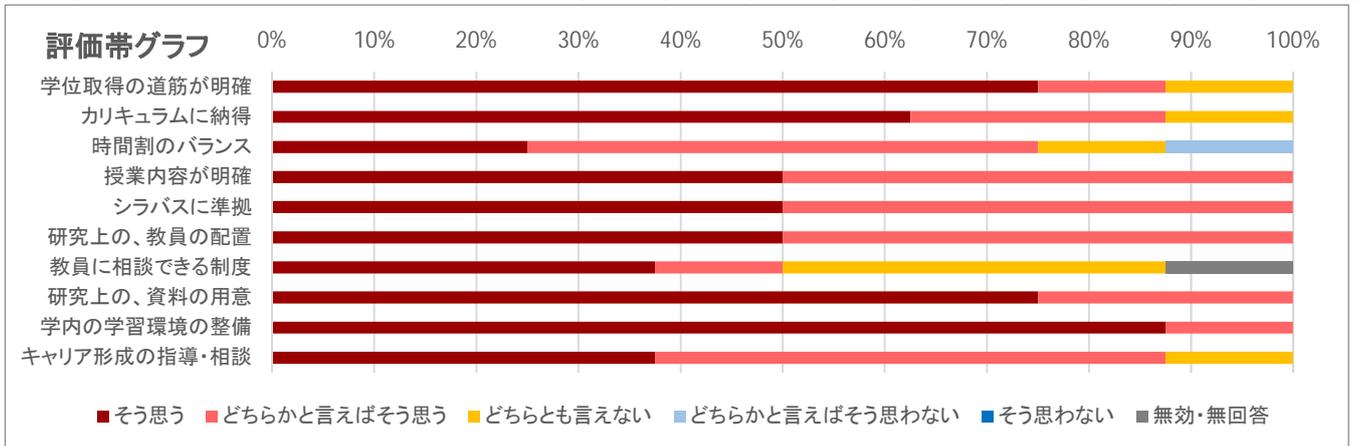
応用英語専攻		人間文化専攻		臨床心理学専攻		心理学専攻		計	
3	37.5%	1	12.5%	4	50.0%	0	0.0%	8	

■学年

修士課程 (M1)		修士課程 (M2)		博士前期課程 (M1)		博士前期課程 (M2)		博士後期課程 (D1)		博士後期課程 (D2)		博士後期課程 (D3)		計	
2	25.0%	2	25.0%	3	37.5%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	

5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答	標準偏差
			5	4	3	2	1			
Q1	学位取得のための道筋が明確に示されている	4.6	6 75.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.696
Q2	提示されたカリキュラムは納得のいくものである	4.5	5 62.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.707
Q3	授業時間割はバランスよく配置されている	3.9	2 25.0%	4 50.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	8	0	0.927
Q4	提供される科目の授業内容が明確に示されている	4.5	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.500
Q5	個々の授業はシラバスに準拠して適切に進められている	4.5	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.500
Q6	研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている	4.5	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.500
Q7	オフィスアワー等、大学院生活を送る上で教員に相談できる制度が整っている	4.0	3 42.9%	1 14.3%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	7	1	0.926
Q8	研究科(専攻)、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている	4.8	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.433
Q9	自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている	4.9	7 87.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.331
Q10	キャリア形成や資格取得に関して適切な指導、相談が行われている	4.3	3 37.5%	4 50.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.661



■研究科

回答者数	4
------	---

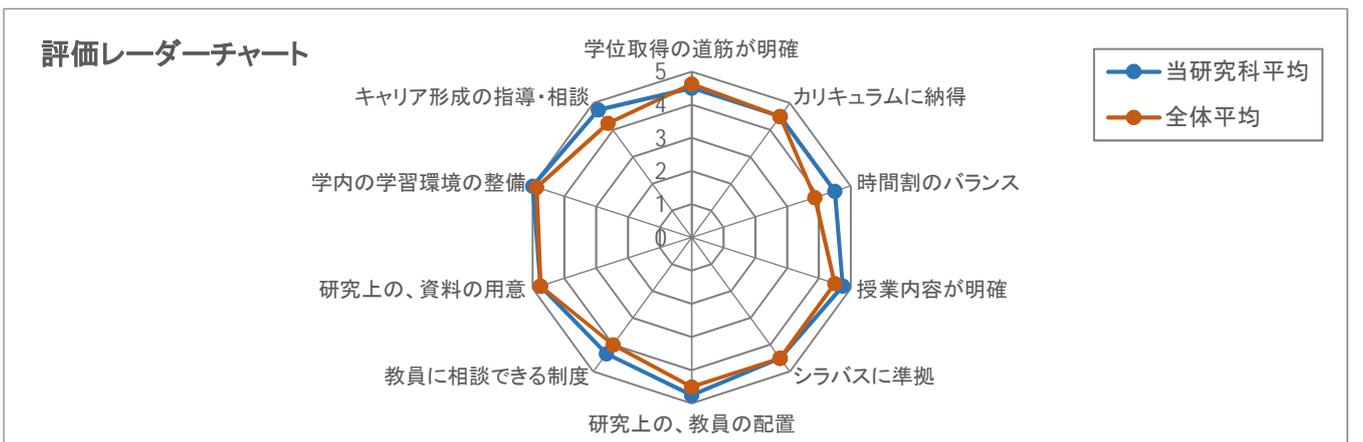
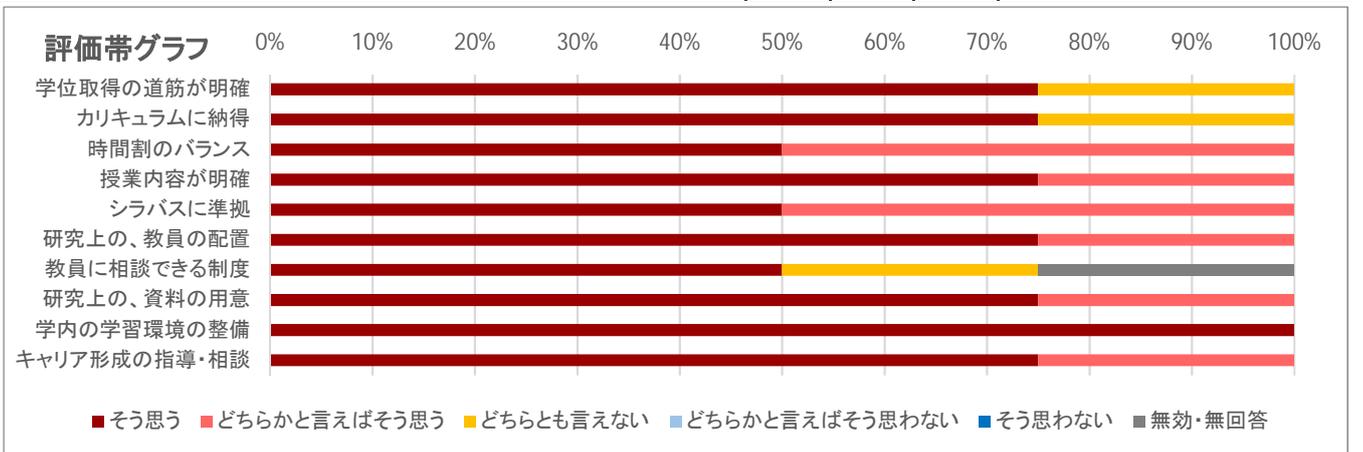
人間文化研究科

■学年

修士課程 (M1)	修士課程 (M2)	博士前期課程 (M1)	博士前期課程 (M2)	博士後期課程 (D1)	博士後期課程 (D2)	博士後期課程 (D3)	計
2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4

5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない

No.	設問文	全体平均点	当研究科平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1			
Q1	学位取得のための道筋が明確に示されている	4.6	4.5	3	0	1	0	0	4	0	0.866
Q2	提示されたカリキュラムは納得のいくものである	4.5	4.5	3	0	1	0	0	4	0	0.866
Q3	授業時間割はバランスよく配置されている	3.9	4.5	2	2	0	0	0	4	0	0.500
Q4	提供される科目の授業内容が明確に示されている	4.5	4.8	3	1	0	0	0	4	0	0.433
Q5	個々の授業はシラバスに準拠して適切に進められている	4.5	4.5	2	2	0	0	0	4	0	0.500
Q6	研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている	4.5	4.8	3	1	0	0	0	4	0	0.433
Q7	オフィスアワー等、大学院生活を送る上で教員に相談できる制度が整っている	4.0	4.3	2	0	1	0	0	3	1	0.943
Q8	研究科(専攻)、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている	4.8	4.8	3	1	0	0	0	4	0	0.433
Q9	自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている	4.9	5.0	4	0	0	0	0	4	0	0.000
Q10	キャリア形成や資格取得に関して適切な指導、相談が行われている	4.3	4.8	3	1	0	0	0	4	0	0.433



■研究科

回答者数	4
------	---

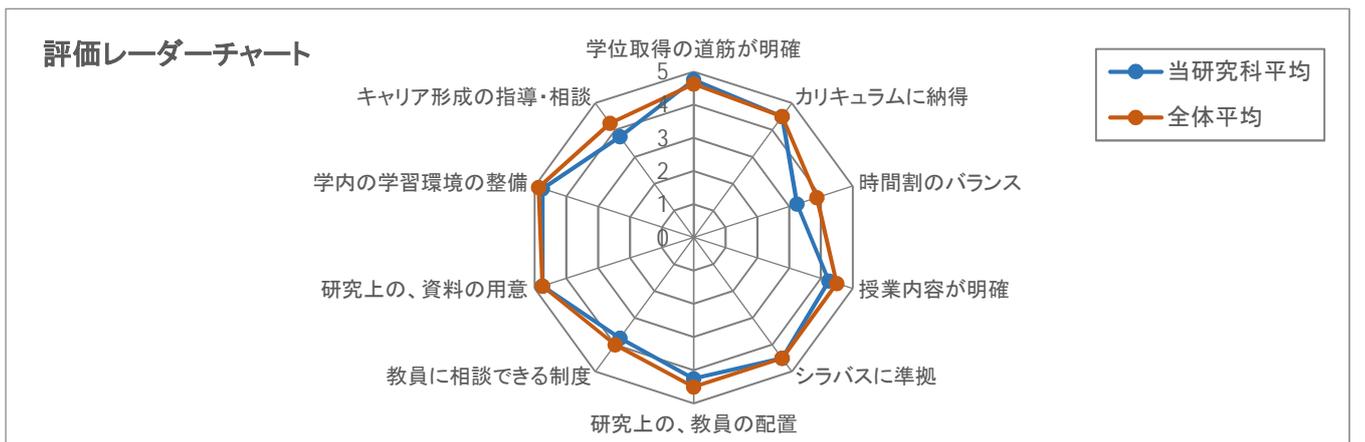
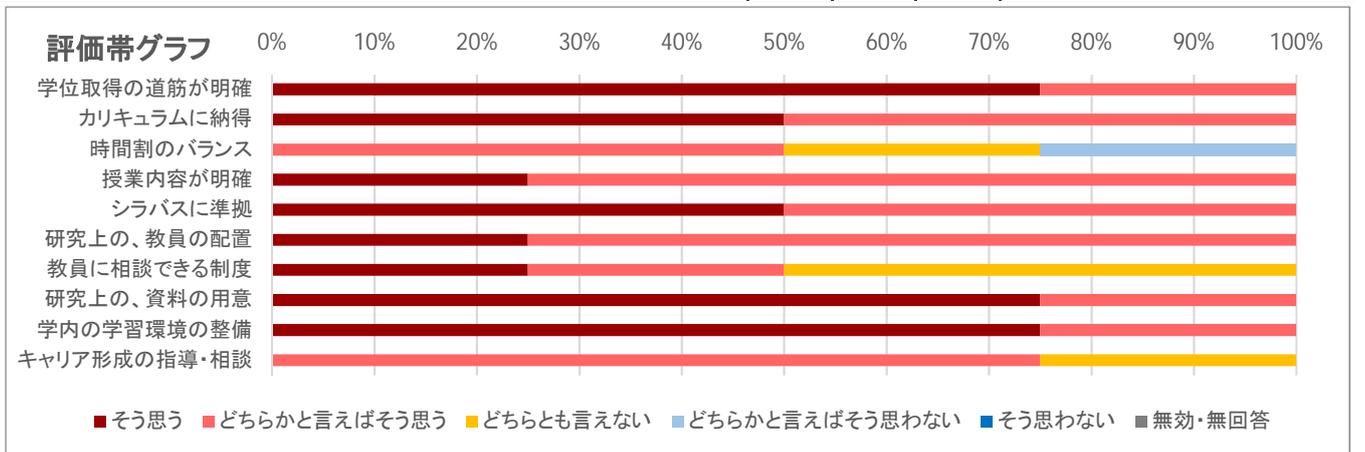
心理学研究科

■学年

修士課程 (M1)	修士課程 (M2)	博士前期課程 (M1)	博士前期課程 (M2)	博士後期課程 (D1)	博士後期課程 (D2)	博士後期課程 (D3)	計							
0	0.0%	0	0.0%	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4

5: と思う 4: どちらかと言えば思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない

No.	設問文	全体平均点	当研究科平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1			
Q1	学位取得のための道筋が明確に示されている	4.6	4.8	3	1	0	0	0	4	0	0.433
Q2	提示されたカリキュラムは納得のいくものである	4.5	4.5	2	2	0	0	0	4	0	0.500
Q3	授業時間割はバランスよく配置されている	3.9	3.3	0	2	1	1	0	4	0	0.829
Q4	提供される科目の授業内容が明確に示されている	4.5	4.3	1	3	0	0	0	4	0	0.433
Q5	個々の授業はシラバスに準拠して適切に進められている	4.5	4.5	2	2	0	0	0	4	0	0.500
Q6	研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている	4.5	4.3	1	3	0	0	0	4	0	0.433
Q7	オフィスアワー等、大学院生活を送る上で教員に相談できる制度が整っている	4.0	3.8	1	1	2	0	0	4	0	0.829
Q8	研究科(専攻)、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている	4.8	4.8	3	1	0	0	0	4	0	0.433
Q9	自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている	4.9	4.8	3	1	0	0	0	4	0	0.433
Q10	キャリア形成や資格取得に関して適切な指導、相談が行われている	4.3	3.8	0	3	1	0	0	4	0	0.433



Ⅲ 2022 年度「オープンクラス」実施報告

1. 実施概要

オープンクラスの目的は、教員が互いの授業を参観し授業方法に関する知識や技能を共有することで、教員の資質を開発し、授業をより質の高いものとするところである。本学では 2011 年度より毎年趣向を変えて実施してきた。

2022 年度は、授業実践において ICT を有効に活用されている事例を各学科で選定し、1 授業あたり 30 分程度の映像を視聴する形式で実施した。映像は、オープンクラス実施に先立つ 6 月から 7 月にかけて対面授業を撮影したものを Microsoft Stream にて学内限定で公開した。オープンクラス参加者は、視聴した授業についての感想や助言（コメントシート）を提出することとし、その内容を授業担当教員へフィードバックした。

2022 年度「オープンクラス」実施状況

実施期間	参加者数	コメントシート提出数
2022 年 8 月 1 日（月）～9 月 20 日（火）	64	67

注) 複数の参観をし、それぞれのコメントシートを提出した参加者がいるためコメント数と参加者数が異なる。

2021 年度前期「オープンクラス」授業科目一覧

	科目区分	科目名	担当教員	内容など
1	言語科目群	TOEIC I A	英語英文学科 Steven Herder 教授	Learning from Mistakes
2		Writing I C	英語英文学科 York Weatherford 准教授	Free Writing and Peer Review
3	国際日本文化学科 専門教育科目	中国語 I A	国際日本文化学科 朱 鳳 教授	アプリ Quizlet の活用
4	生活環境学科 専門教育科目	ソーシャルワーク演習Ⅲ	生活環境学科 酒井 久美子 教授	第 12 回 グループワーク発表
5	心理学科 専門教育科目	高齢者の心理学	心理学科 伊藤 一美 教授	第 14 回 終末期について
6	こども教育学科 専門教育科目	情報教育	こども教育学科 神月 紀輔 教授	第 12 回

2. 現状と今後の課題

今年度は計6件の授業が公開され、参加者数は64名（専任教員の92.8%）であった。都合の良い時間に都合の良い場所で視聴できるというオンライン・オンデマンド形式のメリットが活かされた結果と言える。参加者による参観シートにも“視聴しやすい”“今後もこの形式を続けてほしい”との感想がみられている。

今後の課題としては、以下の3つが挙げられる。1つ目は、提供する科目の選び方である。今回、学科ごとに提供する科目を決めていただいたが、参観シートには“結果的に授業選びを任された学科主任の先生が自分で出ておられる学科もあり、忙しく責任の大きい先生方に負担をかけているようで、気の毒に思った。授業選びについて、委員会の方で主導されてもいいのでは”との感想がみられた。一方で、今年度より委員が学部選出となり、委員が出ていない学科の科目が十分把握できない、という事情もあり、今後、どのような形で提供する科目を選出するか、検討を行う必要があると考えられる。

2つ目は、オープンクラスで提供する科目のテーマの設定方法である。参観シートには“ICT使用、双方向授業（特に大人数の場合）について学べる機会をいただけると有難い”“ICTを活用している授業などとして制限があるとオープンクラスに手をあげる教員が狭まってしまう、オープンクラスとしての本来の意味がよくわからなくなっているような気がする”等の意見が寄せられている。今回は、委員会で協議してテーマを設定したが、今後、どのような形でテーマ設定を行うのか、テーマ設定の方法について、事前アンケートの実施等も含め、検討が必要である。

3つ目は、動画作成や視聴環境に関する課題である。参観シートには“先生の声が聴きとりにくい”“音声聞き取りにくいように感じたので、録画する際には授業者の先生の近くにマイクを置いて声が拾えるといいのではないか”等の記述がみられた。今後、原因を特定したうえで、動画作成方法の改善や、視聴環境に関する事前の情報発信などの対応が必要と考えられる。

文責: 三好 智子（現代人間学部 FD 委員）

1. 実施概要

2022年度はFD委員会において以下のFD研修会を企画し実施した。

テーマ：教育の質保証の実現を目指して－「ボーダーフリー大学」研究の知見から－

日時：2023年2月15日（水）10：30～12：00

講師：葛城 浩一 先生（神戸大学 大学教育推進機構 大学教育研究センター 准教授）

会場：NDホール

参加者数：61名（専任教員54名、職員6名、理事長）

概要：

神戸大学大学教育推進機構大学教育研究センターの葛城浩一先生をお迎えし、「教育の質保証の実現を目指して－『ボーダーフリー大学』研究の知見から」と題してご講演いただいた。

志願者が少なく事実上入学者を選抜することが困難な大学において、学生の中に生ずる現象は「学生の全般的な学力低下」といった単純なものではなく、学力や意欲の分散の広がり、すなわち「学生の多様化」だといわれている。こうした現象を前に、私たちはいかにして教育の質を保証し、学生の学びを保障していくことができるのか。

本研修会では、現在、本学を含めわが国の少なからぬ大学が直面しているこの課題について、いわゆる「ボーダーフリー（BF）大学」研究の第一人者である葛城先生のご知見をもとに、少しアカデミックで俯瞰的な視点から考える機会とした。

当日の講演では、学生の多様化が進む大学における授業内・授業外での学生の学習面の問題、教員の動機づけや教育と研究の両立の問題などについて、事前アンケートで明らかになった本学の状況もふまえつつお話しいただいた。

本研修会を通じ、本学の置かれた状況を客観的な視点から再確認するとともに、教職員が一丸となって学生の多様化にとまなう課題に真正面から向き合い教育の質保証を実現していく、そのための手がかりを得ることができた。

2. 現状と今後の課題

今年度のFD研修会のテーマは本学教職員にとって身近な問題であるがゆえにセンシティブなものであったが、当初の心配をよそに参加率95.7%、事後アンケート回収率83.6%、アンケートにて「大変有意義だった」または「有意義だった」と回答した参加者の割合90.1%と好評を得た。これも、葛城先生のご講演内容の質の高さもさることながら、自分たちの置かれた状況をしっかり認識した上で大学一丸となって教育の質保証を実現していこうという本学教職員の意識の表れといえよう。

講演ではまず、私立大学の定員充足率の推移と現状をふまえつつ、いわゆる「ボーダーフリー大学」に関する研究が定員割れを抱える大学が増加し始めた2000年代前半から現れていったことについて説明があった。次に、ボーダーフリー大学の入学者の学習面での多様性に関する調査結果について紹介があり、学習面で問題を抱える入学者の割合は定員割れの深刻さによって左右されないが、抱える問題の質に違いがあり、そうした入学者の半数程度が問題を克服できないまま卒業して

いる可能性が指摘された。また、そうした問題を克服させるには、学習習慣や学習レディネスをしっかり身につけさせたり、「相互作用型授業」を取り入れたりすることが有効であるという示唆が示された。さらに、学生が授業外学修をおこなわない要因については、成績評価や事前事後学修のあり方について問題があるほか、学生側の授業外学修の必要性・重要性の認識不足や卒業・就職が最大の関心事であること等も要因となっているという指摘があった。加えて、教員側が熱心に教育に励めば励むほど負担が大きくなるという構造的な問題点についても指摘された。この構造的問題に関連して、教員の活動を評価する際に研究活動が重視されるケースが圧倒的に多いことについて実証的に解説された。最後に、ボーダーフリー大学の教員の6割が教育と研究の両立に困難を抱える中、それを困難にしている要因についての考察が示され、大学の種別化・機能分化の議論と関連させつつ可能な範囲で研究の成果を学生に伝える機会を増やすことの重要性について問題提起がなされた。

講演後の質疑応答では、学習意欲が相対的に低い学生に対して授業外学修を促す方法や逆に学習意欲の高い学生に対する学習機会提供の具体例についての質問、同じように授業外学修を促しても学生のタイプによって取り組み方が異なる点に関する質問、授業での学びや授業外での学びを促すにあたってのICT活用の利点と弱点に関する質問、教員が教育へのモチベーションを維持するための方策や学習の意義を学生に理解させるためのアプローチに関する質問、卒業後一定の期間が経った元学生を対象とした調査に関する質問などが出た。

事後アンケートでは、今後のFD研修会で扱ってほしいテーマについて、今回のテーマをさらに掘り下げた内容や、多様化する学生への具体的な教育・支援方法に関する内容、定員充足率回復に成功した大学の具体的な取り組みについての内容などを望む声が挙がっていた。今後も教職員の要望とFD活動の趣旨の両方を満たすような研修会のテーマやあり方を探っていくことが必要であろう。

文責：石川 裕之（FD委員長、国際言語文化学部 FD委員）

〈第8分科会〉

その能力、どうしたら社会で活かせる？

—発達障害のある理工系学生の能力を専門職就労につなげるために必要な支援と課題—

コーディネーター

京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 教授 三好 智子

○本分科会のねらい

発達障害のある学生は得意・不得意の差が大きく、高い能力を持っている場合でも、コミュニケーションの不得手やこだわりの強さなどの特性から、社会・企業の期待とのマッチングに困難が生じやすい。発達障害のある人の中には、いわゆる理工系分野に高い能力や資質をもっている人がいる。しかし、その能力が実際に社会で活かされるには、現状、様々な課題があると思われる。本分科会では、大学・企業・公的就労支援機関より、取り組みの現状についてご報告いただき、まずはそれぞれの立場での「今、取り組んでいること・課題となっていること」を共有し、今後の議論につなげることを目的とした。

○報告の概要

はじめにコーディネーターより、本分科会の趣旨説明を行った。

講演1では、京都工芸繊維大学アクセシビリティ・コミュニケーション支援センター特定 教授の藤川洋子氏が、大学障害学生支援部門における取り組みについて報告を行った。まず、Society5.0に向けた人材育成におけるSTEAM教育(Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics)の重要性と、発達障害特性とSTEAM領域の親和性について述べられたのち、理工系を専攻する発達障害学生の「修学期/就職準備期」から「就職活動期」にわたる具体的な支援について、事例を交えつつ報告がなされた。また、発達障害学生の能力を活かしていく上ではアセスメントが重要であり、チームでの支援が有効であることが述べられた。講演2では「発達障がいのある理工系学生の専門能力を活かすための企業としての取り組み」と題して、オムロン京都太陽株式会社人事総務課の佐野友宇子氏が報告を行った。まず、オムロン京都太陽株式会社の企業理念や会社概要等の説明ののち、理工系学部を卒業した発達障害のある社員への個別の支援と、周囲を含めた「究極のコミュニケーションの仕組みづくり」について報告がなされた。また、学生を支援する大学関係者へのメッセージとして、「一人ひとりをしっかり見る」「自己理解と自己発信の支援」「行動改善(成長)の支援」に加えて、大学と就職先、外部支援機関との連携が重要であることが述べられた。

講演3では「ハローワーク特別支援内容～現場での支援と課題～」と題して、京都新卒応援ハローワークの乾智子氏が報告を行った。まず、ハローワークが大学と連携して発達障害学生の支援を行うようになった経緯について、近年の発達障害学生の増加や就職状況、就労支援機関の利用状況等をもとに説明がなされた。そして、ハローワークによる「特別支援チーム」の体制と支援の実際について、事例を交えつつ報告がなされた。最後に、「学業と就職活動の両立」「就職準備と就職活動のスタートの時期」「インターンシップの対応」「定着支援」等が、現在の課題として述べられた。

○報告に対する質疑ならびに全体討議の内容

全体討論では、改めて「発達障害のある理工系学生が、その資質や専門性を社会で活かすには？」というテーマに対し、社会全体の理解を高めていく必要性や、様々な困難を抱える当事者学生へのメッセージ、多様な就職の仕方やキャリア形成に関する提言等が述べられた。質疑応答では、精神障害のある学生の定着支援や職場定着率に関する質問があった。

2022 年度 FD 委員会構成員

委員長	石川裕之	(現代人間学部 生活環境学科)
委員	三好智子	(現代人間学部 心理学科)
委員	谷愛子	(研究・情報推進課課長)
事務局	研究・情報推進課	

京都ノートルダム女子大学
2022 年度 FD 報告書

2023 年 5 月 1 日発行

編 集	京都ノートルダム女子大学 FD 委員会 (事務局：研究・情報推進課)
発 行	京都ノートルダム女子大学 〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町 1 番地 TEL (075) 781-1173 FAX (075) 706-3707 ホームページ http://www.notredame.ac.jp



京都ノートルダム女子大学